

# **平成 2 4 年度 「取引実態調査」(第 7 回) 結果**

**平成 2 5 年 7 月**

**全国米穀販売事業共済協同組合**



## はじめに

取引実態調査は、取引先との公正性・透明性・合理性ある取引の実現を図るため、平成18年度より実施しており、今回で7回目となります。

全米販では、その調査結果を以って、監督官庁である農林水産省をはじめ、公正取引委員会、経済産業省、中小企業庁のほか、量販店、ホームセンター、ドラッグストア等の全国団体に対して、不公正と思われる取引の是正方を求めてまいりました。本年もこの調査結果によって各方面へ要請してまいります。

24年度調査においては、これまで大規模小売業者に特定された「大規模小売業告示」に基づいていた調査を改め、平成22年11月30日に公正取引委員会から示された「優越的地位の濫用に関するガイドライン」に基づいた調査項目で行なうことと致しました。また、併せて販売先区分についても実態に合せた区分の新設、細分化等の見直しを実施し、内容の充実を図りました。

年々、不公正と思われる取引は減少しておりますが、このような取り組みを継続して行なうことが不公正と思われる取引を抑止する上で重要であり、引き続き取引先関連団体はじめ関係機関に対して、更なる是正を求めていく必要があると考えております。

今後とも組合員皆様のご協力を切にお願いする次第です。

平成25年7月

全国米穀販売事業共済協同組合



# 目 次

I 調査方法等 .....	P. 1
---------------	------

II 調査結果取りまとめ .....	P. 5
--------------------	------

## III 調査結果

### (1) 販売先の不公正と思われる取引について

1. 購入・利用強制について	問 1 ～ 問 3 .....	P. 7
2. 協賛金等の負担の要請について	問 4 ～ 問 6 .....	P. 17
3. 従業員等の派遣の要請について	問 7 ～ 問 9 .....	P. 27
4. 経済上の利益の提供の要請について	問10 ～ 問12 .....	P. 37
5. 受領拒否について	問13 ～ 問15 .....	P. 43
6. 返品について	問16 ～ 問18 .....	P. 53
7. 支払遅延について	問19 ～ 問21 .....	P. 65
8. 減額について	問22 ～ 問24 .....	P. 71
9. 取引の対価の一方的決定について	問25 ～ 問27 .....	P. 81
10. やり直しの要請について	問28 ～ 問30 .....	P. 91
11. その他の優越的地位の濫用について	問31 ～ 問33 .....	P. 97

(2) ご意見等	問34 .....	P. 104
----------	-----------	--------

## I 調査方法等

1. 調査実施時期 平成25年1月～2月

2. 調査方法 組合員卸への郵送によるアンケート調査

※ 前回調査（平成23年度調査）は「大規模小売業告示」に基づいていたが、今回調査（平成24年度調査）は「優越的地位の濫用に関するガイドライン」に基づくよう変更した。

3. 回収結果

		23年度	22年度	21年度
(1) 送付組合員卸数	183卸	182卸	187卸	197卸
(2) 回答組合員卸数	100卸	120卸	129卸	130卸
(3) 回収率	57.8%	65.9%	69.0%	67.4%

4. 集計について

- (1) 本調査においては、販売先区分ごとの状況を把握することを目的としている。そのため、販売先区分ごと取引のある組合員卸数を集計しており、合計についてはこれらの合算による延数となっている。従って、調査結果の割合はこれら延数に対する割合であり、回答組合員卸数「100卸」に対する割合ではない。
- (2) 前回の調査は「大規模小売店告示」に基づく行為類型で調査しているが、今回の調査項目は「優越的地位の濫用に関するガイドライン」に基づく行為類型について調査している。従って、多くの調査行為類型は重複するが、前回調査になく、今回新たに調査した項目については設問の末尾に「(新規調査項目)」と記載した。
- (3) 前回調査とは「販売先区分」が異なるため、比較に当たっては注意を要す。今回調査と前回調査の「販売先区分」の対比は下表のとおりである。

今回調査と前回調査の販売先区分

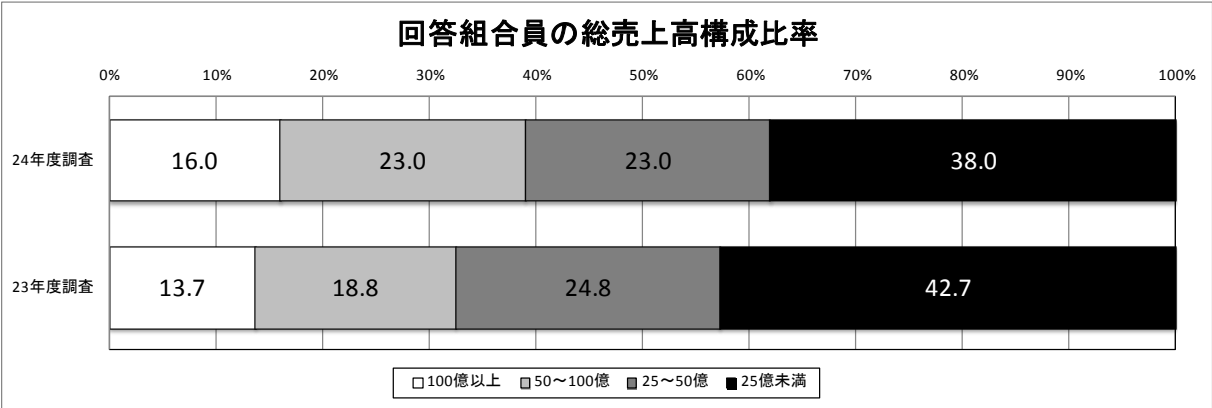
今回調査	前回調査
[1] 大型総合スーパー	[1] 大手スーパー
[2] 大手食品スーパー	
[3] 中小食品スーパー	[2] 中小スーパー
[4] 百貨店	[3] 百貨店
[5] 生協	[4] 生協
[6] ホームセンター	[5] ホームセンター
[7] ドラッグストア	[6] ドラッグストア
[8] ディスカウントストア	—
[9] コンビニエンスストア	—
[10] 大手外食事業者	[7] 大手外食事業者
[11] 中小外食事業者	[8] 中小外食事業者
[12] 炊飯業者・弁当業者	[9] ベンダー
[13] 給食業者	
[14] その他	—

(4) データテーブル(24年度調査と23年度調査の比較表)における23年度の取引卸数は販売先区分の〔1〕大手スーパーの数を販売先区分〔2〕大手食品スーパーの欄に、販売先区分〔9〕ベンダーの数を〔12〕炊飯業者・弁当業者の欄に計上している。

(5) その他留意点

- ① 当てはまるもの1つを選ぶ設問の回答は、帯グラフで表示している。
- ② 複数回答可の設問は、棒グラフで表示している。
- ③ <販売先区分名>の後ろの( )は、回答卸数である。
- ④ ≪全販売先≫は、延回答卸数である。
- ⑤ 問1・2・4・5・7・8・16・17・19・20・25・26・31・32の〔記載があった取引先〕として記載の取引先名は、ランダムなアルファベット名であり、実社名の頭文字ではない。
- ⑥ パーセンテージの合計については、ラウンドの関係で100%とならない場合がある。

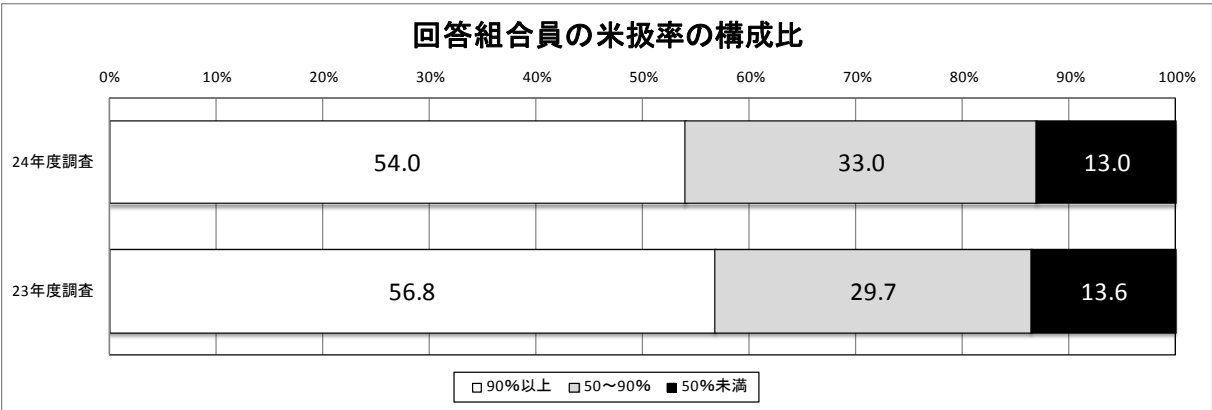
5. 回答組合員の総売上高構成比



売上高構成比 データテーブル

	100億以上	50～100億	25～50億	25億未満	合計
24年度調査	16 卸 16.0 %	23 卸 23.0 %	23 卸 23.0 %	38 卸 38.0 %	100 卸
23年度調査	16 卸 13.7 %	22 卸 18.8 %	29 卸 24.8 %	50 卸 42.7 %	117 卸
増減	± 0 卸 + 2.3 ポイント	+ 1 卸 + 4.2 ポイント	▲ 6 卸 ▲ 1.8 ポイント	▲ 12 卸 ▲ 4.7 ポイント	▲ 17 卸

6. 回答組合員の米扱率（総売上高に占める米穀売上高の割合）構成比

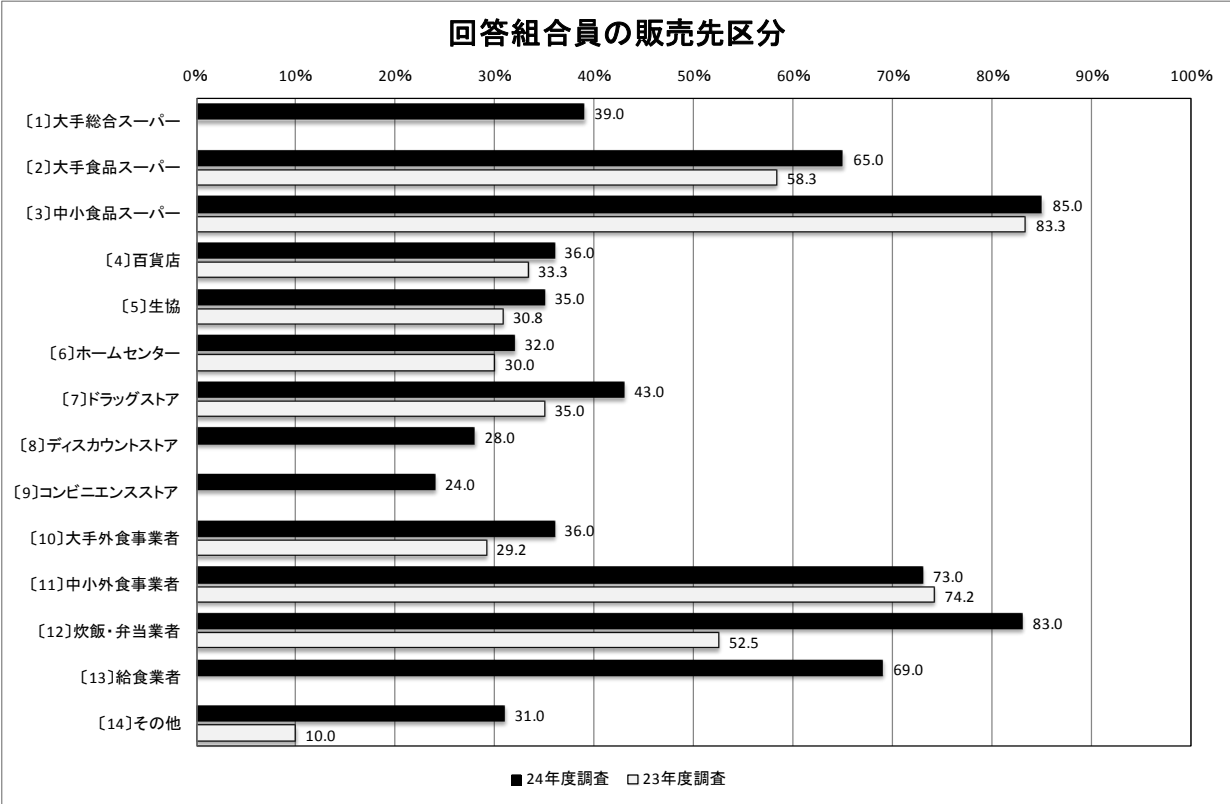


米扱率 データテーブル

	90%以上	50～90%	50%未満	合計
24年度調査	54 卸 54.0 %	33 卸 33.0 %	13 卸 13.0 %	100 卸
23年度調査	67 卸 56.8 %	35 卸 29.7 %	16 卸 13.6 %	118 卸
増減	▲ 13 卸 ▲ 2.8 ポイント	▲ 2 卸 + 3.3 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 0.6 ポイント	▲ 18 卸



7. 回答組合の販売先構成比



販売先区分構成比 データテーブル

	[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア	
24年度調査	39 卸 39.0 %	65 卸 65.0 %	85 卸 85.0 %	36 卸 36.0 %	35 卸 35.0 %	32 卸 32.0 %	43 卸 43.0 %	
23年度調査	— —	70 卸 58.3 %	100 卸 83.3 %	40 卸 33.3 %	37 卸 30.8 %	36 卸 30.0 %	42 卸 35.0 %	
増減	+ 39 卸 + 39.0 ポイ	▲ 5 卸 + 6.7 ポイ	▲ 15 卸 + 1.7 ポイ	▲ 4 卸 + 2.7 ポイ	▲ 2 卸 + 4.2 ポイ	▲ 4 卸 + 2.0 ポイ	+ 1 卸 + 8.0 ポイ	

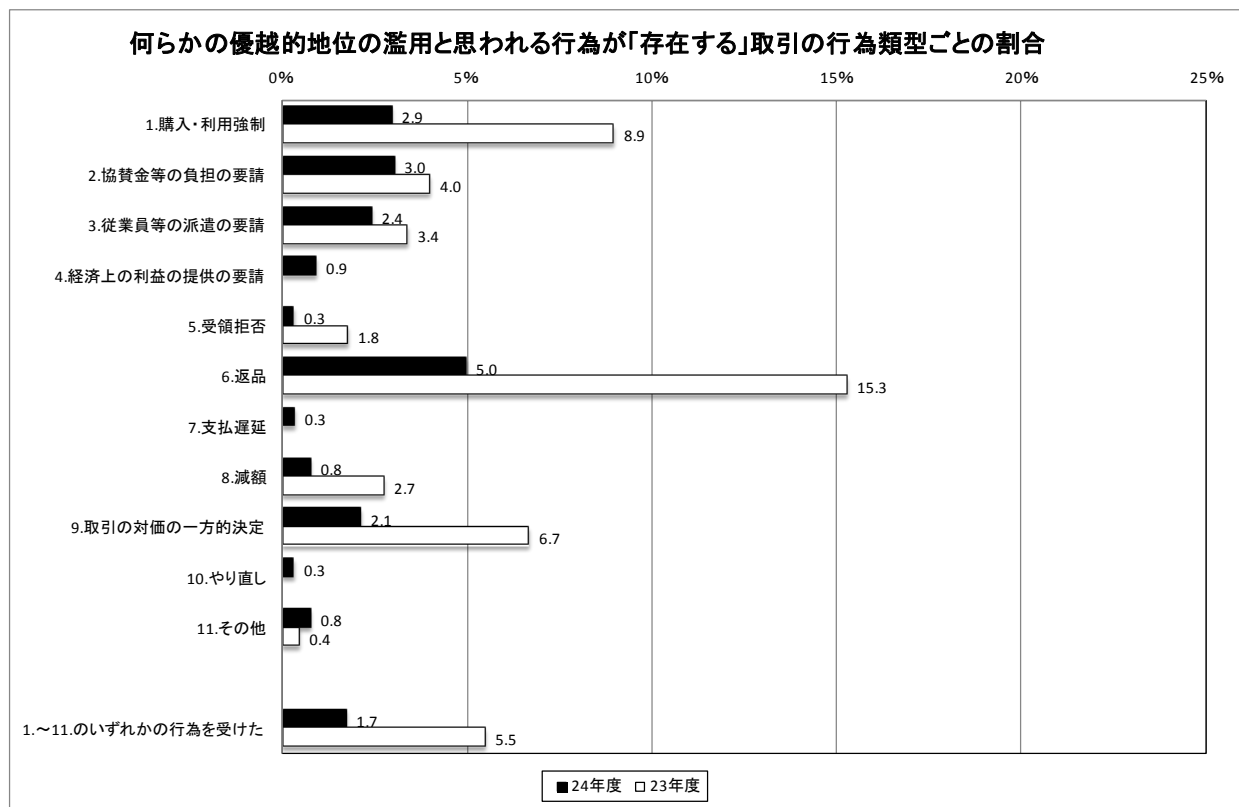
	[8]ディスカウント ストア	[9]コンビニエンス ストア	[10]大手 外食事業者	[11]中小 外食事業者	[12]炊飯・ 弁当業者	[13] 給食業者	[14] その他	《全販売先》 合計
24年度調査	28 卸 28.0 %	24 卸 24.0 %	36 卸 36.0 %	73 卸 73.0 %	83 卸 83.0 %	69 卸 69.0 %	31 卸 31.0 %	100 卸
23年度調査	— —	— —	35 卸 29.2 %	89 卸 74.2 %	63 卸 52.5 %	— —	12 卸 10.0 %	120 卸
増減	+ 28 卸 + 28.0 ポイ	+ 24 卸 + 24.0 ポイ	+ 1 卸 + 6.8 ポイ	▲ 16 卸 ▲ 1.2 ポイ	+ 20 卸 + 30.5 ポイ	+ 69 卸 + 69.0 ポイ	+ 19 卸 + 21.0 ポイ	▲ 20 卸

- 最も取引のある販売先区分は、[3] 中小食品スーパー（85 卸 85.0%（回答組合員（100 卸）に対する割合。以下同じ。）であった。
- 以下、[12] 炊飯・弁当業者（83 卸 83.0%）、[11] 中小外食事業者（卸 73.0%）、[2] 大手食品スーパー（65 卸 65.0%）の順であった。
- 前回の調査と販売先区分に変更があるため、一概に判断できないが、全体の構成比は前回の調査とほぼ同程度である。
- 「[14] その他」の具体的事例は、問 1 の回答によれば、「米穀店」、「個人商店」、「食材卸」、「一般家庭」、「地場卸」となっている。

## Ⅱ 調査結果取りまとめ

### <優越的地位の濫用と思われる行為の状況>

- 今回の調査において、何らかの優越的地位の濫用と思われる行為が「存在する」と回答した卸の割合は、延 125 卸（1.7％）で、前回調査の延 219 卸（5.5％）より大きく減少した。
- 前回調査結果と比較できる行為の種類のうち、最も高い率を示したのは、「6．返品」であり、33 卸（5.0％）が「存在する」と回答した。しかし、前回の調査では、78 卸（15.3％）が「存在する」と回答しており、▲45 卸（▲10.3 ㊦）の減少となった。
- そのほか、大きく減少したのは、「1．購入・利用強制」が前回調査の 45 卸（8.9％）から▲25 卸（▲6.0 ㊦）の 20 卸（2.9％）、「9．取引の対価の一方的決定」が前回調査の 34 卸（6.7％）から▲20 卸（▲4.5 ㊦）の 14 卸（2.1％）であった。
- 「1 1．その他」以外に増加した行為の類型はなく、全体的に「優越的地位の濫用と思われる行為」は減少した。



※ 4・7・10 は今回新たに調査した行為類型である。

## 取引の行為類型ごとの割合 データテーブル

		1.購入 ・利用強制	2.協賛金等の 負担の要請	3.従業員等の 派遣の要請	4.経済上の利益 の提供の要請	5.受領拒否	6.返品
〔存在する〕	24年度調査	20 卸 2.9 %	20 卸 3.0 %	16 卸 2.4 %	6 卸 0.9 %	2 卸 0.3 %	33 卸 5.0 %
	23年度調査	45 卸 8.9 %	20 卸 4.0 %	17 卸 3.4 %	— —	9 卸 1.8 %	78 卸 15.3 %
	増減	▲ 25 卸 ▲ 6.0 ポイント	+ 0 卸 ▲ 1.0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	— —	▲ 7 卸 ▲ 1.5 ポイント	▲ 45 卸 ▲ 10.3 ポイント
〔存在しない〕	24年度調査	659 卸 97.1 %	644 卸 97.0 %	649 卸 97.6 %	659 卸 99.1 %	662 卸 99.7 %	633 卸 95.0 %
	23年度調査	458 卸 91.1 %	483 卸 96.0 %	487 卸 96.6 %	— —	502 卸 98.2 %	433 卸 84.7 %
	増減	+ 201 卸 + 6.0 ポイント	+ 161 卸 + 1.0 ポイント	+ 162 卸 + 1.0 ポイント	— —	+ 160 卸 + 1.5 ポイント	+ 200 卸 + 10.3 ポイント
取引卸数	24年度調査	679 卸	664 卸	665 卸	665 卸	664 卸	666 卸
	23年度調査	503 卸	503 卸	504 卸	—	511 卸	511 卸
	増減	+ 176 卸	+ 161 卸	+ 161 卸	—	+ 153 卸	+ 155 卸
		7.支払遅延	8.減額	9.取引の対価の 一方的決定	10.やり直し	11.その他	1.～11.のいずれかの 行為を受けた
〔存在する〕	24年度調査	2 卸 0.3 %	5 卸 0.8 %	14 卸 2.1 %	2 卸 0.3 %	5 卸 0.8 %	延 125 卸 1.7 %
	23年度調査	— —	14 卸 2.7 %	34 卸 6.7 %	— —	2 卸 0.4 %	延 219 卸 5.5 %
	増減	— —	▲ 9 卸 ▲ 2.0 ポイント	▲ 20 卸 ▲ 4.5 ポイント	— —	+ 3 卸 + 0.3 ポイント	▲ 94 卸 ▲ 3.8 ポイント
〔存在しない〕	24年度調査	617 卸 99.7 %	660 卸 99.2 %	651 卸 97.9 %	662 卸 99.7 %	660 卸 99.2 %	延 7,156 卸 98.3 %
	23年度調査	— —	497 卸 97.3 %	477 卸 93.3 %	— —	446 卸 99.6 %	延 3,783 卸 94.5 %
	増減	— —	+ 163 卸 + 2.0 ポイント	+ 174 卸 + 4.5 ポイント	— —	+ 214 卸 ▲ 0.3 ポイント	+ 3,373 卸 + 3.8 ポイント
取引卸数	24年度調査	619 卸	665 卸	665 卸	664 卸	665 卸	延 7,281 卸
	23年度調査	—	511 卸	511 卸	—	448 卸	延 4,002 卸
	増減	—	+ 154 卸	+ 154 卸	—	+ 217 卸	+ 3,279 卸

### Ⅲ 調査結果

(1) 販売先の不公正と思われる取引について

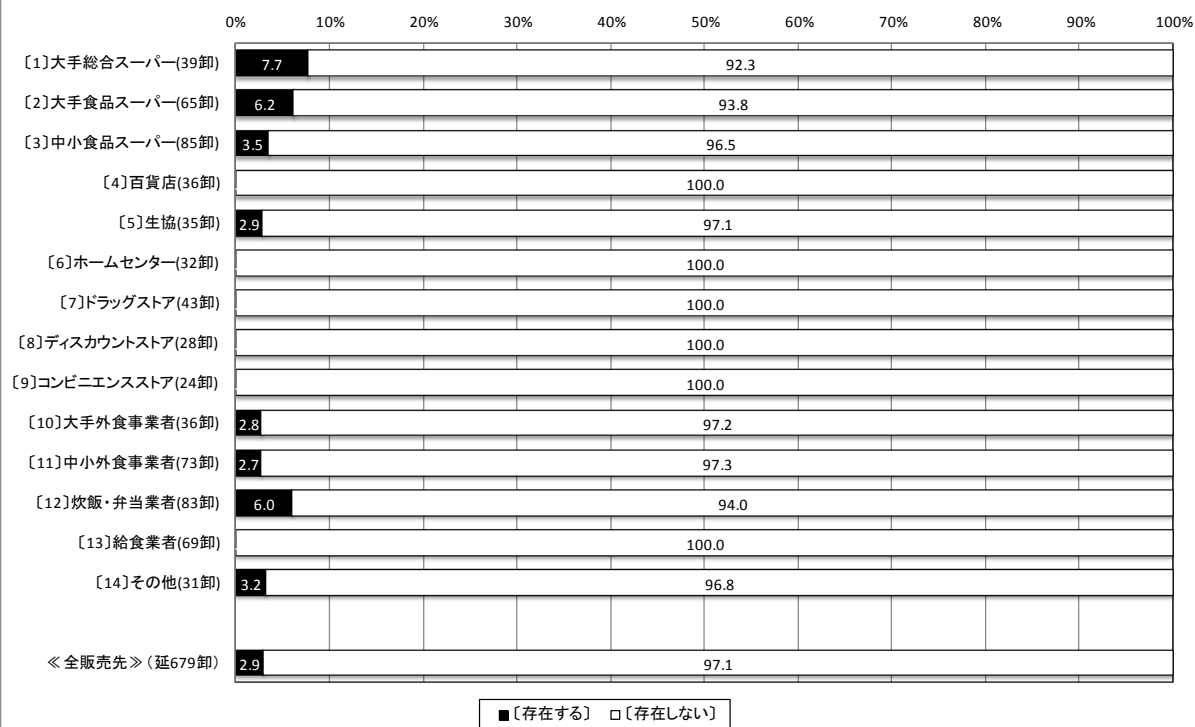
< 1. 独占禁止法第2条第9項第5号イ（購入・利用強制）について >

(問1～問3) (別紙2 P7～10)

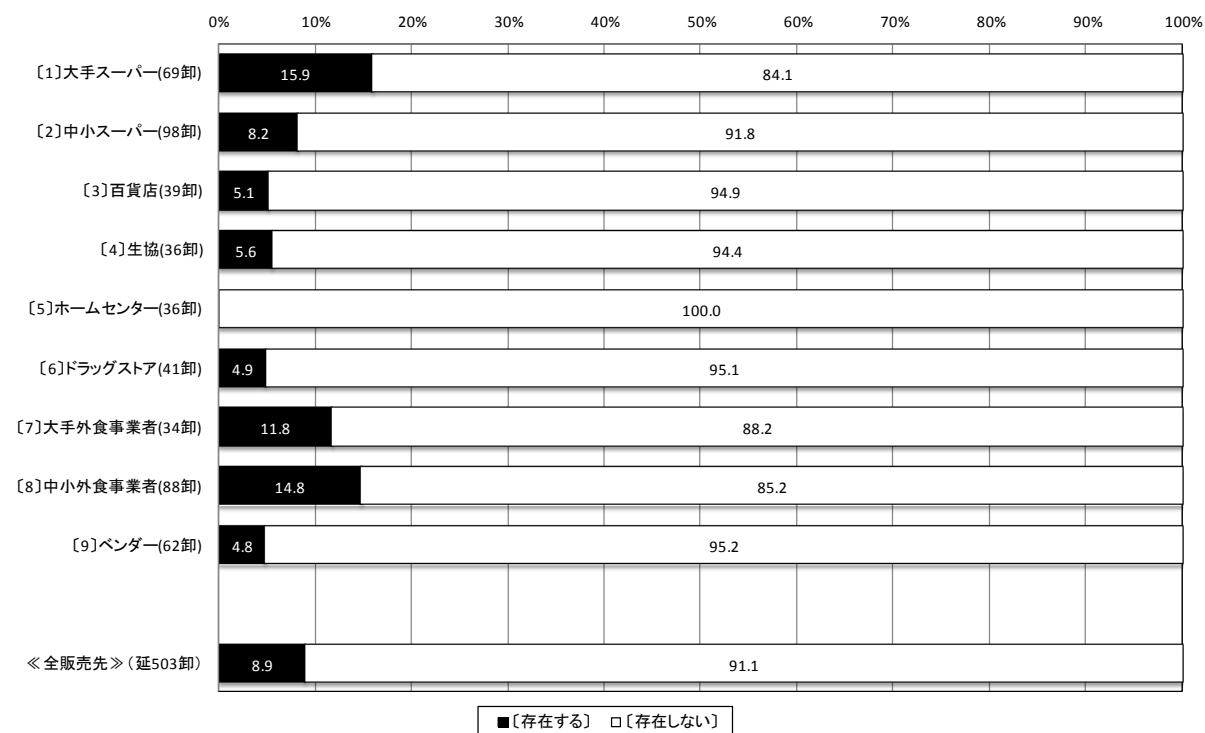
**問1 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「購入・利用強制」（当該取引に係る商品又は役務以外の商品又は役務を購入させること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。**

- 「購入・利用強制」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前回調査の8.9%から今回の調査では2.9%（前回調査比▲6.0 ㊦）に大きく減少した。前回の調査（第6回調査）でもその前の第5回調査の15.1%から▲6.2 ㊦減少しており、「購入・利用強制」は減少の傾向にあるといえる。
- 販売先区分では、大手総合スーパーが7.7%（3 卸）と最も高く、次いで、〔2〕大手食品スーパーが6.2%（4 卸）、〔12〕炊飯・弁当業者が6.0%（5 卸）の順となった。
- 〔14〕その他に「存在する」との回答が1 卸（3.2%）あったが、この場合の「その他」の販売先は「食材卸」であった。

### 問1 「購入・利用強制」の有無



### 23年度 問26 「押付販売等」の有無



問1 データテーブル

		〔1〕大手 総合スーパー	〔2〕大手 食品スーパー	〔3〕中小 食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕 ホームセンター	〔7〕 ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	3 卸 7.7 %	4 卸 6.2 %	3 卸 3.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	11 卸 15.9 %	8 卸 8.2 %	2 卸 5.1 %	2 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	増減	— —	▲ 7 卸 ▲ 9.8 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 4.6 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.9 ポイ
〔存在しない〕	24年度調査	36 卸 92.3 %	61 卸 93.8 %	82 卸 96.5 %	36 卸 100.0 %	34 卸 97.1 %	32 卸 100.0 %	43 卸 100.0 %
	23年度調査	— —	58 卸 84.1 %	90 卸 91.8 %	37 卸 94.9 %	34 卸 94.4 %	36 卸 100.0 %	39 卸 95.1 %
	増減	— —	+ 3 卸 + 9.8 ポイ	▲ 8 卸 + 4.6 ポイ	▲ 1 卸 + 5.1 ポイ	± 0 卸 + 2.7 ポイ	▲ 4 卸 ± 0 ポイ	+ 4 卸 + 4.9 ポイ
取引卸数	24年度調査	39 卸	65 卸	85 卸	36 卸	35 卸	32 卸	43 卸
	23年度調査	—	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	増減	—	▲ 4 卸	▲ 13 卸	▲ 3 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸	+ 2 卸

〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 2.7 %	5 卸 6.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	延 20 卸 2.9 %
—	—	4 卸 11.8 %	13 卸 14.8 %	3 卸 4.8 %	—	—	延 45 卸 8.9 %
—	—	▲ 3 卸 ▲ 9.0 ポイ	▲ 11 卸 ▲ 12.0 ポイ	+ 2 卸 + 1.2 ポイ	—	—	延 ▲ 25 卸 ▲ 6.0 ポイ
28 卸 100.0 %	24 卸 100.0 %	35 卸 97.2 %	71 卸 97.3 %	78 卸 94.0 %	69 卸 100.0 %	30 卸 96.8 %	延 659 卸 97.1 %
—	—	30 卸 88.2 %	75 卸 85.2 %	59 卸 95.2 %	—	—	延 458 卸 91.1 %
—	—	+ 5 卸 + 9.0 ポイ	▲ 4 卸 + 12.0 ポイ	+ 19 卸 ▲ 1.2 ポイ	—	—	延 + 201 卸 + 6.0 ポイ
28 卸	24 卸	36 卸	73 卸	83 卸	69 卸	31 卸	延 679 卸
—	—	34 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 503 卸
—	—	+ 2 卸	▲ 15 卸	+ 21 卸	—	—	延 + 176 卸

問 1-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑤ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

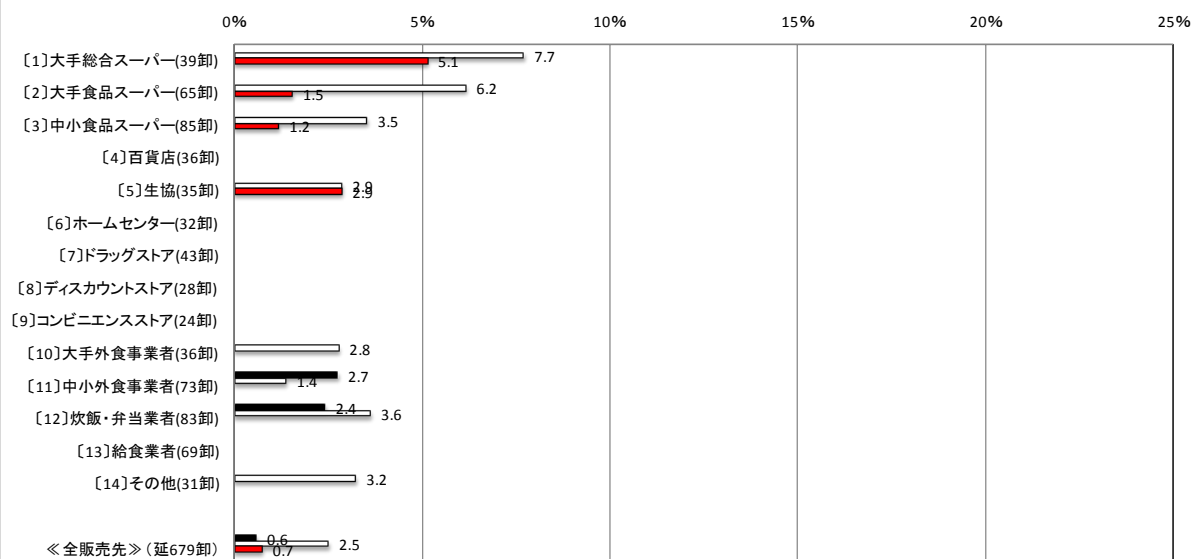
**想定例**

- ① 購入しなければ貴卸との取引を打ち切る等、今後の取引に影響すると受け取られるような要請による購入。
- ② 購買担当者等の貴卸との取引関係に影響を及ぼし得る者に購入を要請されたことによる購入。
- ③ 組織的又は計画的に購入を要請されたことによる購入。
- ④ 購入する意思がないとの表明をした場合に、重ねて購入を要請されたことによる、又は商品を一方的に送付されたことによる購入。
- ⑤ その他

- 「① 購入しなければ貴卸との取引を打ち切る等、今後の取引に影響すると受け取られるような要請による購入。」は、前回の調査では選択肢がなかったが、今回の調査では《全販売先》で0.6%あった。
- 「②購入担当者等の貴卸との取引関係に影響を及ぼし得る者に購入を要請されたことによる購入。」は、前回の調査と同様最も多く選択されたが、《全販売先》で前回調査の6.2%（延31 卸）から2.5%（延17 卸）（前回調査比▲3.7 卸）に大きく減少した。  
選択の多かった販売先区分は、〔1〕大型総合スーパー7.7%（3 卸）、〔2〕大手食品スーパー6.2%（4 卸）〔3〕中小食品スーパー3.5%（3 卸）、〔12〕炊飯・弁当等業者3.6%（3 卸）、〔5〕生協2.9%、〔10〕大手外食事業者2.8%、〔14〕その他3.2%が各1 卸であった。なお、〔14〕その他は「食材卸」である。
- 「③組織的又は計画的に購入を要請されたことによる購入。」は、《全販売先》で前回調査の4.0%（延20 卸）から0.7%（延5 卸、前年比▲3.3 卸）に大きく減少した。
- 「④購入する意思がないとの表明をした場合に、重ねて購入を要請されたことによる、又は商品を一方的に送付されたことによる購入。」は、前回の調査同様選択がなかった。

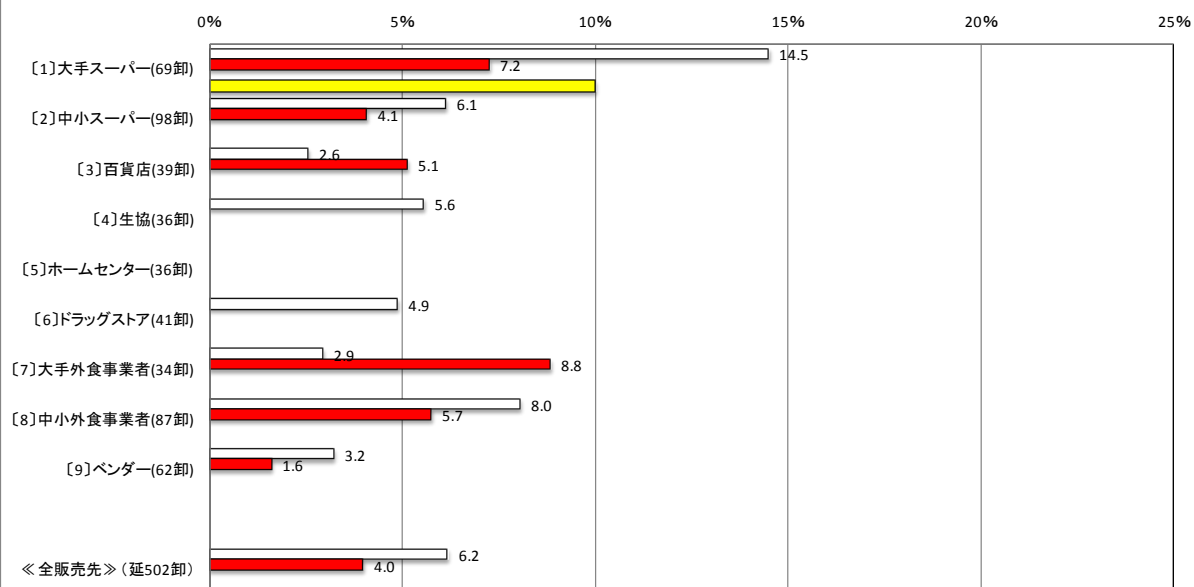


## 問1-2「購入・利用強制」の具体的内容



- ① 購入しなければ貴卸との取引を打ち切る等、今後の取引に影響すると受け取られるような要請による購入。  
□② 購買担当者等の貴卸との取引関係に影響を及ぼし得る者に購入を要請されたことによる購入。  
■③ 組織的又は計画的に購入を要請されたことによる購入。  
■④ 購入する意思がないとの表明をした場合に、重ねて購入を要請されたことによる、又は商品を一方的に送付されたことによる購入。(0卸)  
■⑤ その他(0卸)

## 23年度 問27「押付販売等」の具体的内容



- ② 購買担当者等の貴卸との取引関係に影響を及ぼし得る者に購入を要請されたことによる購入。  
■③ 組織的又は計画的に購入を要請されたことによる購入。  
■④ 購入する意思がないとの表明をした場合に、重ねて購入を要請されたことによる、又は商品を一方的に送付されたことによる購入。(0卸)  
■⑤ その他(0卸)

問1-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 購入しなければ貴卸との取引を打ち切る等、今後の取引に影響すると受け取られるような要請による購入。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
② 購買担当者等の貴卸との取引関係に影響を及ぼし得る者に購入を要請されたことによる購入。	24年度調査	3 卸 7.7 %	4 卸 6.2 %	3 卸 3.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	10 卸 14.5 %	6 卸 6.1 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	増減	—	▲ 6 卸 ▲ 8.3 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 2.6 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 4.9 ポイント
③ 組織的又は計画的に購入を要請されたことによる購入。	24年度調査	2 卸 5.1 %	1 卸 1.5 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	5 卸 7.2 %	4 卸 4.1 %	2 卸 5.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 4 卸 ▲ 5.7 ポイント	▲ 3 卸 ▲ 2.9 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 5.1 ポイント	+ 1 卸 + 2.9 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
④ 購入する意思がないとの表明をした場合に、重ねて購入を要請されたことによる、又は商品を一方的に送付されたことによる購入。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
⑤ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	24年度調査	39 卸	65 卸	85 卸	36 卸	35 卸	32 卸	43 卸
	23年度調査	—	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	増減	—	▲ 4 卸	▲ 13 卸	▲ 3 卸	▲ 1 卸	▲ 4 卸	+ 2 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.7 %	2 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 + 0.6 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	1 卸 1.4 %	3 卸 3.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	延 17 卸 2.5 %
—	—	1 卸 2.9 %	7 卸 8.0 %	2 卸 3.2 %	—	—	延 31 卸 6.2 %
—	—	± 0 卸 ▲ 0.2 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 6.7 ポイ	+ 1 卸 + 0.4 ポイ	—	—	延 ▲ 18 卸 ▲ 3.7 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.7 %
—	—	3 卸 8.8 %	5 卸 5.7 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 20 卸 4.0 %
—	—	▲ 3 卸 ▲ 8.8 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 5.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	—	—	延 ▲ 17 卸 ▲ 3.2 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイ
28 卸	24 卸	36 卸	73 卸	83 卸	69 卸	31 卸	延 679 卸
—	—	34 卸	87 卸	62 卸	—	—	延 502 卸
—	—	+ 2 卸	▲ 14 卸	+ 21 卸	—	—	延 ▲ 14 卸

問 2 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

**問 3 昨年に比べて「購入・利用強制」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。**

〔 1〕 大型総合スーパー

- 販売先の決算目標が高くなり増加した。
- 以前は頻繁に依頼があったりしていたが、最近では存在しなくなった。クリスマスケーキ等の案内等が一部あるが、特に問題ないと判断している。

〔 2〕 大手食品スーパー

- 独占禁止法に基づく公取の立入調査により「購入・利用」斡旋を中止した。
- 販売先の総合的な売上が減少し、存在しなくなった。
- 競争相手が増加し、販売不振になり存在しなくなった。
- 当該商品の販売数量減少が見込まれ、納入業者あての購入依頼が増加した。

〔 3〕 中小食品スーパー

- 販売先の総合的な売上がり、減少した。
- 競争相手が増加し、販売不振になっている。

〔 4〕 百貨店

- 販売先の総合的な売上が減少し、存在しなくなった。
- 競争相手が増加し、販売不振になり存在しなくなった。

〔 8〕 ディスカウントストア

- 年末商戦等の繁忙期と重なり、店舗負担の軽減を図り、業者への働きかけが無くなった。

〔11〕 中小外食事業者

- 経営者だけでなく、仕入担当、経理担当からも強要され増加した。

〔12〕 炊飯・弁当業者

- 取引額の減少に伴い減少した。

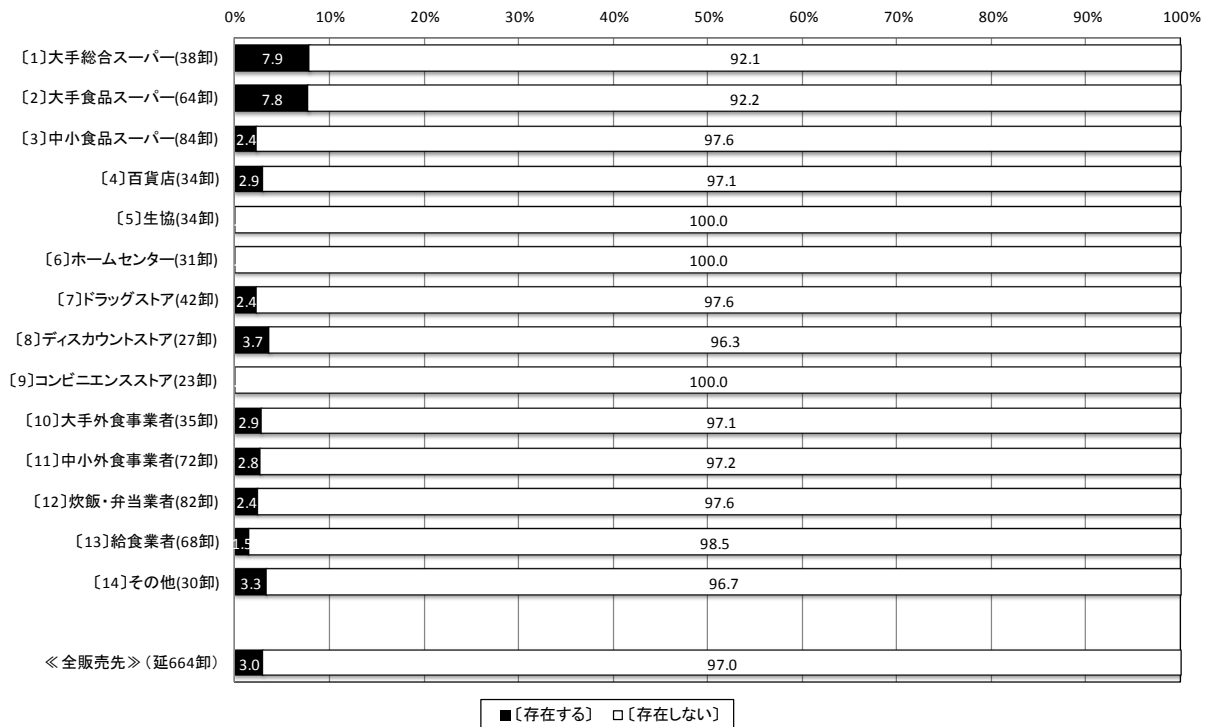
＜ 2. 独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ロ（(1) 協賛金等の負担の要請）について＞

（（問 4～問 6）別紙 2 P 10～11）

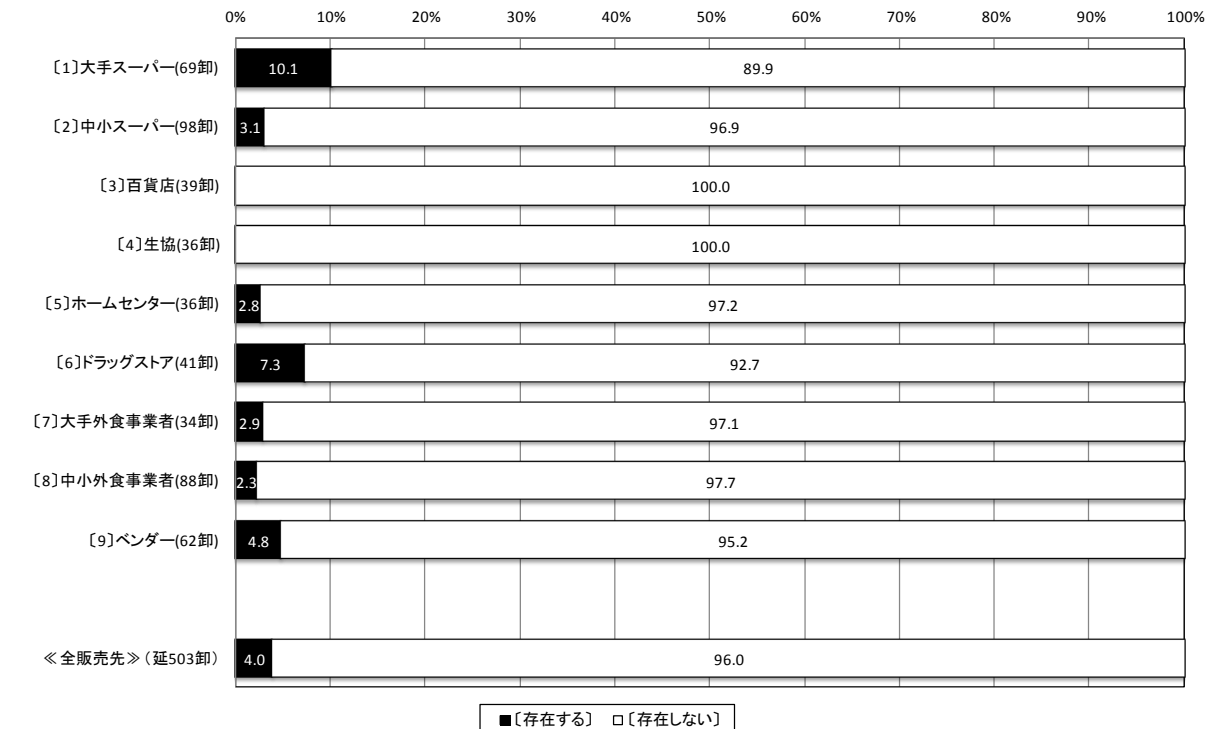
問 4 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「協賛金等の名目による金銭の負担の要請」（販売先のために金銭等を正常な商習慣に照らして不当に提供させること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

- 「協賛金等の名目による金銭の負担の要請」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前回調査の 4.0%から今回の調査では 3.0%（前回調査比▲1.0 ㊦）に減少した。前回の調査（第 6 回調査）でもその前の第 5 回調査の 6.1%から▲2.1 ㊦減少しており、減少の傾向が続いている。
- [14] その他に「存在する」との回答が 1 件（3.3%）あったが、この場合の「その他」の販売先は「食材卸」であった。

#### 問4 「協賛金等の負担の要請」の有無



#### 23年度 問36 「不当な経済上の利益の收受等」の有無



問4 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	3 卸 7.9 %	5 卸 7.8 %	2 卸 2.4 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	— —	7 卸 10.1 %	3 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	3 卸 7.3 %
	増減	— —	▲ 2 卸 ▲ 2.3 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 0.7 ポイ	+ 1 卸 + 2.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.9 ポイ
〔存在しない〕	24年度調査	35 卸 92.1 %	59 卸 92.2 %	82 卸 97.6 %	33 卸 97.1 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	41 卸 97.6 %
	23年度調査	— —	62 卸 89.9 %	95 卸 96.9 %	39 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	35 卸 97.2 %	38 卸 92.7 %
	増減	— —	▲ 3 卸 + 2.3 ポイ	▲ 13 卸 + 0.7 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 2.9 ポイ	▲ 2 卸 ± 0 ポイ	▲ 4 卸 + 2.8 ポイ	+ 3 卸 + 4.9 ポイ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	34 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 14 卸	▲ 5 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	+ 1 卸



〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
1 卸 3.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.8 %	2 卸 2.4 %	1 卸 1.5 %	1 卸 3.3 %	延 20 卸 3.0 %
—	—	1 卸 2.9 %	2 卸 2.3 %	3 卸 4.8 %	—	—	延 20 卸 4.0 %
—	—	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ ジ	± 0 卸 + 0.5 ポイ ジ	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイ ジ	—	—	± 0 卸 ▲ 1.0 ポイ ジ
26 卸 96.3 %	23 卸 100.0 %	34 卸 97.1 %	70 卸 97.2 %	80 卸 97.6 %	67 卸 98.5 %	29 卸 96.7 %	延 644 卸 97.0 %
—	—	33 卸 97.1 %	86 卸 97.7 %	59 卸 95.2 %	—	—	延 483 卸 96.0 %
—	—	+ 1 卸 + 0.1 ポイ ジ	▲ 16 卸 ▲ 0.5 ポイ ジ	+ 21 卸 + 2.4 ポイ ジ	—	—	延 + 161 卸 + 1.0 ポイ ジ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 664 卸
—	—	34 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 503 卸
—	—	+ 1 卸	▲ 16 卸	+ 20 卸	—	—	延 + 161 卸

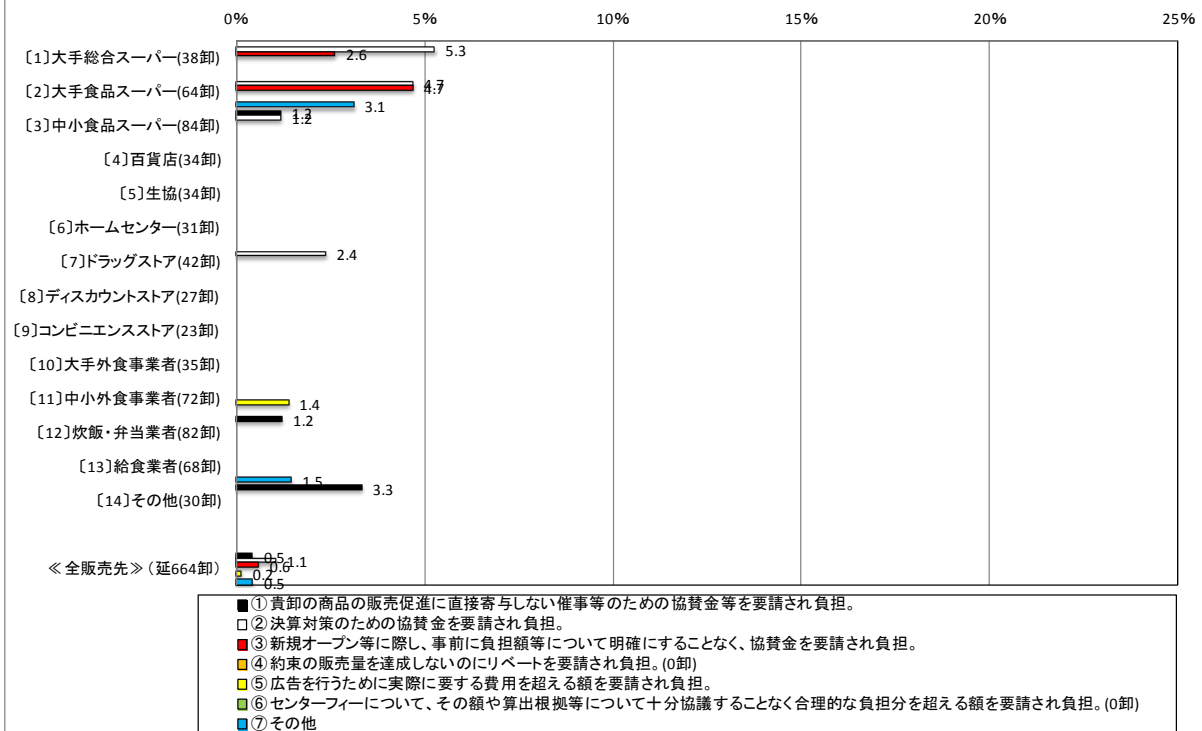
問 4-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑦ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

**想定例**

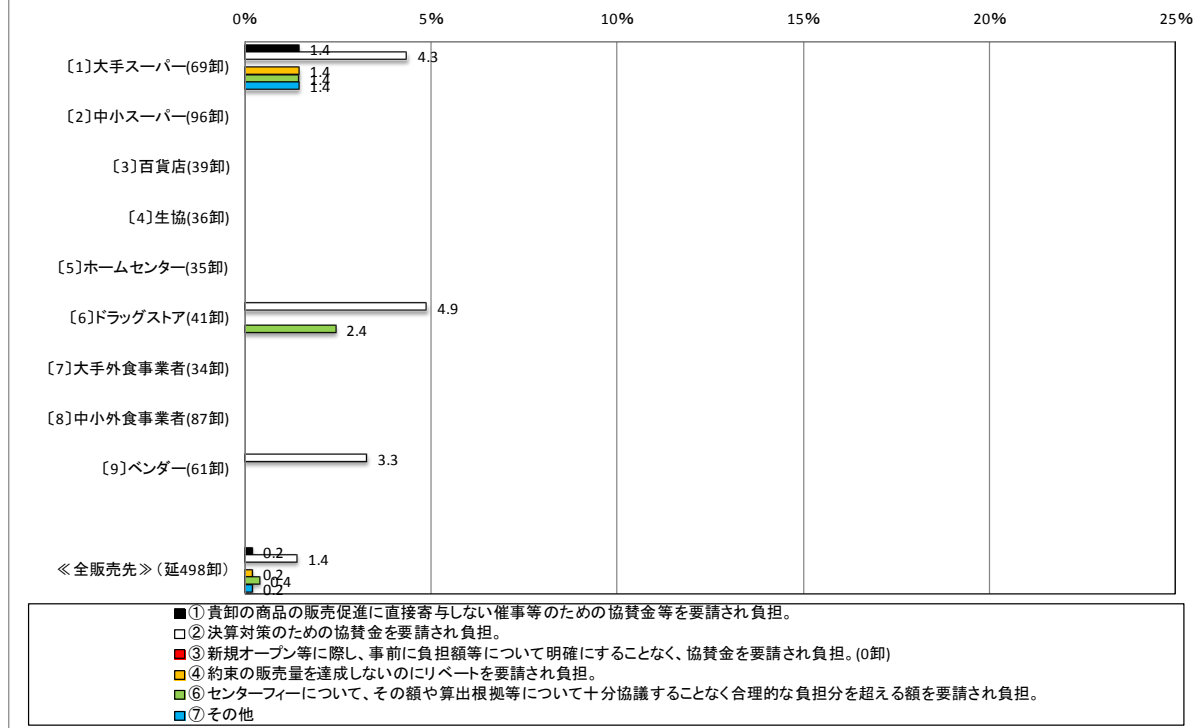
- ① 貴卸の商品の販売促進に直接寄与しない催事等のための協賛金等を要請され負担。
- ② 決算対策のための協賛金を要請され負担。
- ③ 新規オープン等の際し、事前に負担額等について明確にすることなく、協賛金を要請され負担。
- ④ 約束の販売量を達成しないのにリベートを要請され負担。
- ⑤ 広告を行うために実際に要する費用を超える額を要請され負担。
- ⑥ センターフィーについて、その額や算出根拠等について十分協議することなく合理的な負担分を超える額を要請され負担。
- ⑦ その他

- 最も多く選択されたのは、「②決算対策のための協賛金を要請され負担。」で、《全販売先》で1.1%（前年度比▲0.4 ㊦）で、延7 卸であった。  
販売先区分は、〔1〕大型総合スーパーが2 卸、〔2〕大手食品スーパーが3 卸、〔3〕中小食品スーパーと〔7〕ドラッグストアが1 卸であった。
- 次に多く選択されたのは「③新規オープン等の際し、事前に負担額等について明確にすることなく、協賛金を要請され負担。」で、《全販売先》で0.6%（延4 卸）であった。  
選択したのは〔1〕大型総合スーパーが1 卸、〔2〕大手食品スーパーが3 卸であった。
- 3 番目に多く選択されたのは「①貴卸の商品の販売促進に直接寄与しない催事等のための協賛金等を要請され負担。」で、《全販売先》で0.5%（延3 卸）であった。  
販売先区分は、〔3〕中小食品スーパー、〔12〕炊飯・弁当業者、〔14〕その他が各1 卸であった。
- 「⑤広告を行うために実際に要する費用を超える額を要請され負担。」は〔11〕中小外食事業業者で1 卸の選択があった。
- 「④約束の販売量を達成しないのにリベートを要請され負担。」および「⑥センターフィーについて、その額や算出根拠等について十分協議することなく合理的な負担分を超える額を要請され負担。」は、今回の調査では選択がなくなった。

#### 問4-2「協賛金等の負担の要請」の具体的内容



#### 23年度 問37「不当な経済上の利益の收受等」の具体的内容



問4-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 貴社の商品の販売促進に直接寄与しない催事等のための協賛金等を要請され負担。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	+ 1 卸 + 1.2 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
② 決算対策のための協賛金を要請され負担。	24年度調査	2 卸 5.3 %	3 卸 4.7 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	—	3 卸 4.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	増減	—	± 0 卸 + 0.3 ポイント	+ 1 卸 + 1.2 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.5 ポイント
③ 新規オープン等に際し、事前に負担額等について明確にすることなく、協賛金を要請され負担。	24年度調査	1 卸 2.6 %	3 卸 4.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	+ 3 卸 + 4.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
④ 約束の販売量を達成しないのにリベートを要請され負担。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
⑤ 広告を行うために実際に要する費用を超える額を要請され負担。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
⑥ センターフィーについて、その額や算出根拠等について十分協議することなく合理的な負担分を超える額を要請され負担。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイント
⑦ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	2 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	+ 1 卸 + 1.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	34 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	96 卸	39 卸	36 卸	35 卸	41 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 12 卸	▲ 5 卸	▲ 2 卸	▲ 4 卸	+ 1 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.3 %	延 3 卸 0.5 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 1 卸 0.2 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	+ 1 卸 + 1.2 ポイ ント	—	—	延+ 1 卸 + 0.3 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.1 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 3.3 %	—	—	延 7 卸 1.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	▲ 2 卸 ▲ 3.3 ポイ ント	—	—	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	—	—	延+ 3 卸 + 0.6 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 1 卸 0.2 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	—	—	延 ▲ 1 卸 ▲ 0.2 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延+ 0 卸 + 0.2 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 2 卸 0.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	—	—	延 ▲ 2 卸 ▲ 0.4 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.5 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 1 卸 0.2 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	—	—	延+ 1 卸 + 0.3 ポイ ント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 664 卸
—	—	34 卸	87 卸	61 卸	—	—	延 498 卸
—	—	+ 1 卸	▲ 15 卸	+ 21 卸	—	—	延 ▲ 20 卸

問 5 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 6 昨年に比べて「協賛金等の負担の要請」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

※ 回答がなかった。

＜ 3. 独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ロ（(2) 従業員等の派遣の要請）について＞

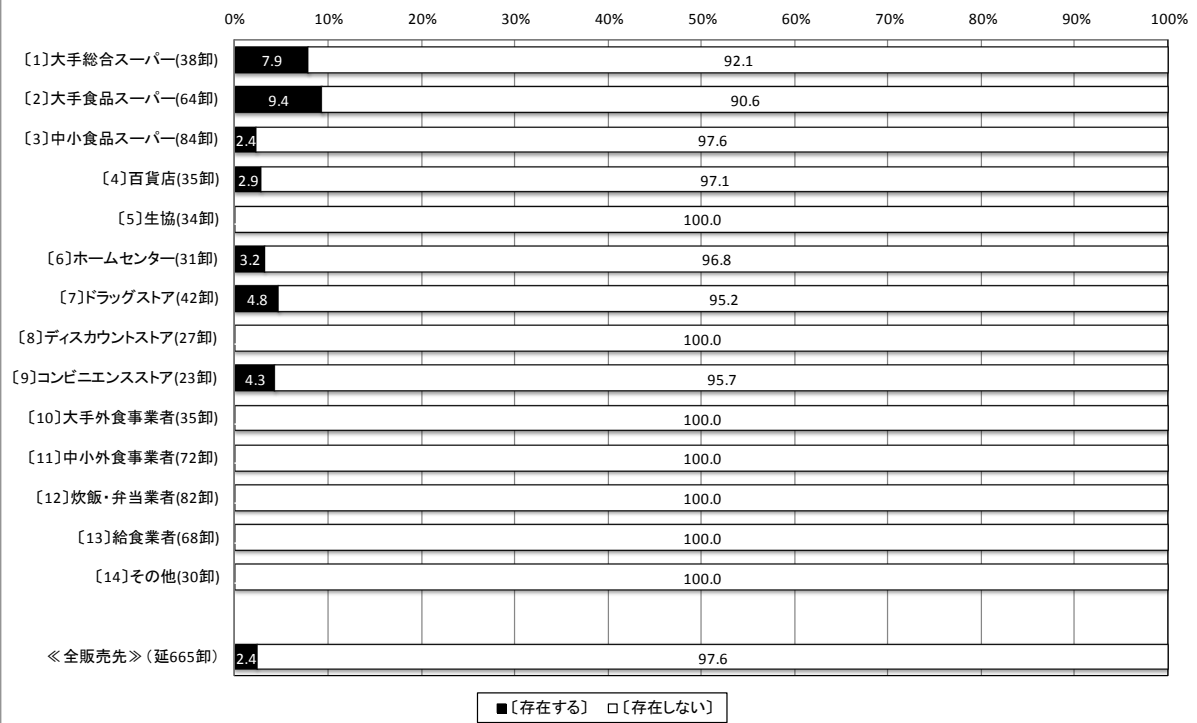
（問 7～問 9）（別紙 2 P 12～13）

**問 7** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「従業員等の派遣の要請」（販売先のために役務その他の経済上の利益を正常な商習慣に照らして不当に提供させること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

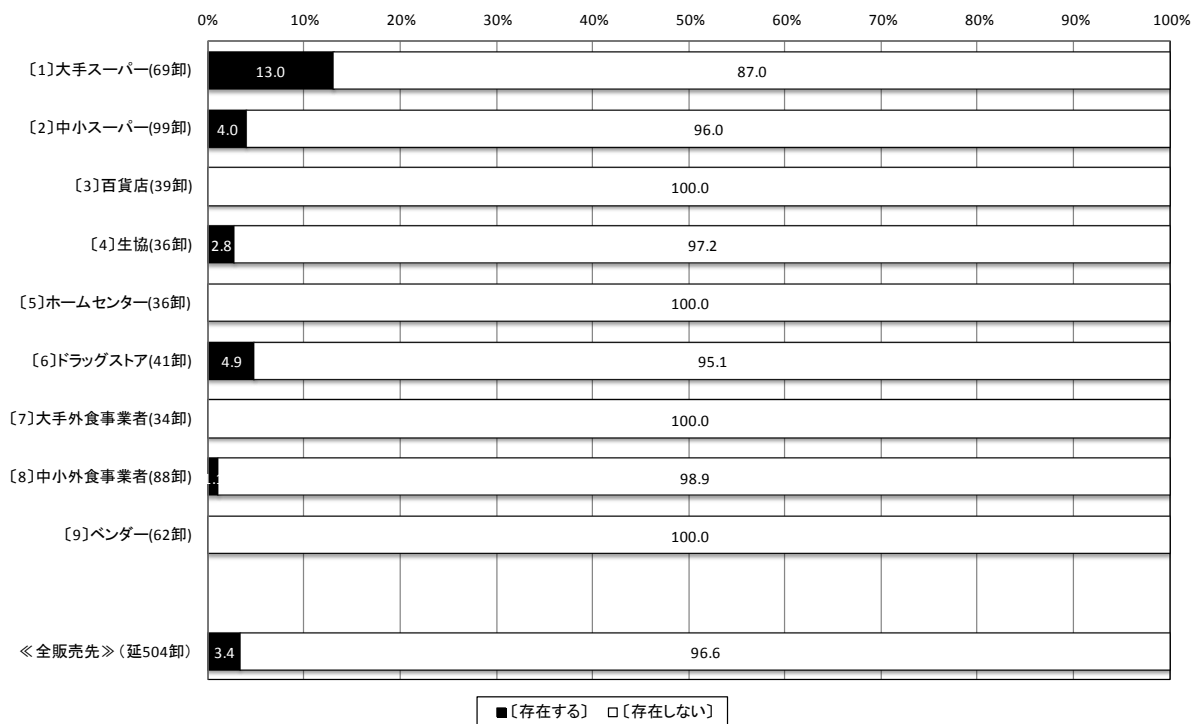
- 「従業員等の（不当な）派遣の要請」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前回調査の 3.4%から 2.4%（前回調査比▲1.0 ㊦）と減少した。
- [5] 生協、[8] ディスカウントストア、[10] 大手外食事業者、[11] 中小外食事業者、[12] 炊飯・弁当業者、[13] 給食業者、[14] その他は存在しなかった。
- 前回の調査で存在しなかった [4] 百貨店は、今回 2.9%（1 卸）あった。



### 問 7 「従業員等の派遣の要請」の有無



### 23年度 問31 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無



問7 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	3 卸 7.9 %	6 卸 9.4 %	2 卸 2.4 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	2 卸 4.8 %
	23年度調査	— —	9 卸 13.0 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	増減	— —	▲ 3 卸 ▲ 3.7 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 1.7 ポイ	+ 1 卸 + 2.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	+ 1 卸 + 3.2 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ
〔存在しない〕	24年度調査	35 卸 92.1 %	58 卸 90.6 %	82 卸 97.6 %	34 卸 97.1 %	34 卸 100.0 %	30 卸 96.8 %	40 卸 95.2 %
	23年度調査	— —	60 卸 87.0 %	95 卸 96.0 %	39 卸 100.0 %	35 卸 97.2 %	36 卸 100.0 %	39 卸 95.1 %
	増減	— —	▲ 2 卸 + 3.7 ポイ	▲ 13 卸 + 1.7 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 2.9 ポイ	▲ 1 卸 + 2.8 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 3.2 ポイ	+ 1 卸 + 0.1 ポイ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	99 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 15 卸	▲ 4 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	+ 1 卸

〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	1 卸 4.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 16 卸 2.4 %
—	—	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 17 卸 3.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ
27 卸 100.0 %	22 卸 95.7 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	82 卸 100.0 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 649 卸 97.6 %
—	—	34 卸 100.0 %	87 卸 98.9 %	62 卸 100.0 %	—	—	延 487 卸 96.6 %
—	—	+ 1 卸 ± 0 ポイ	▲ 15 卸 + 1.1 ポイ	+ 20 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 162 卸 + 1.0 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	34 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 504 卸
—	—	+ 1 卸	▲ 16 卸	+ 20 卸	—	—	延 + 161 卸

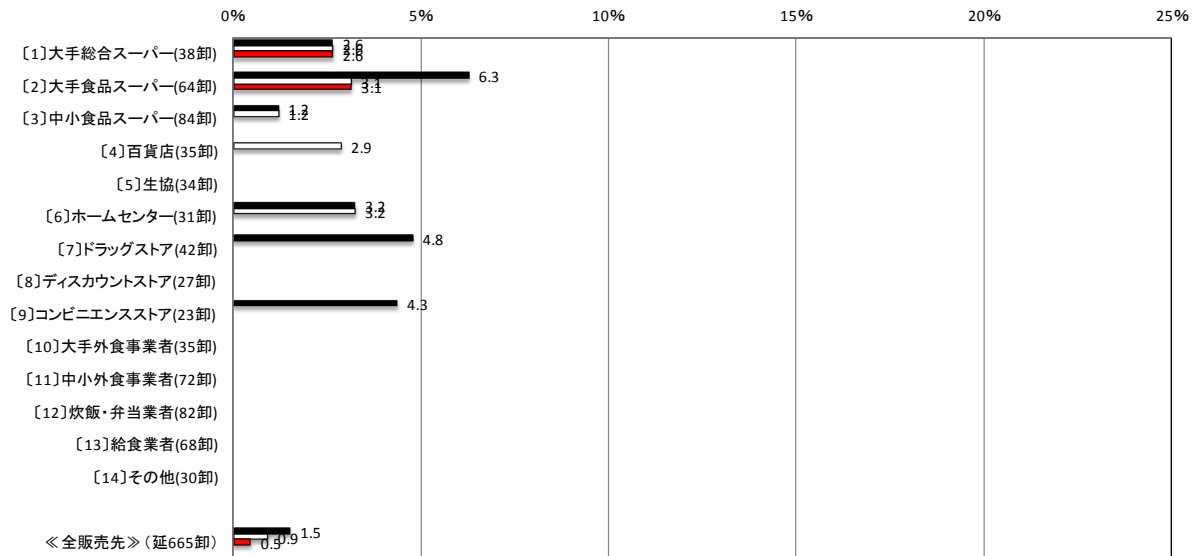
問 7-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑤ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

**想定例**

- ① 派遣費用を負担することなく、販売先の利益にしかならない業務を行うよう要請され、従業員等を派遣。
- ② 納入商品の販売業務に併せて他の納入業者の商品の販売業務にも貴卸の従業員を従事させた。
- ③ 従業員等の派遣に際して、一律に日当の額を定めるのみであって、交通費等の費用が発生するにもかかわらず、当該費用を負担しない。
- ④ 販売先の棚卸業務のためのアルバイトの賃金を負担させた。
- ⑤ その他

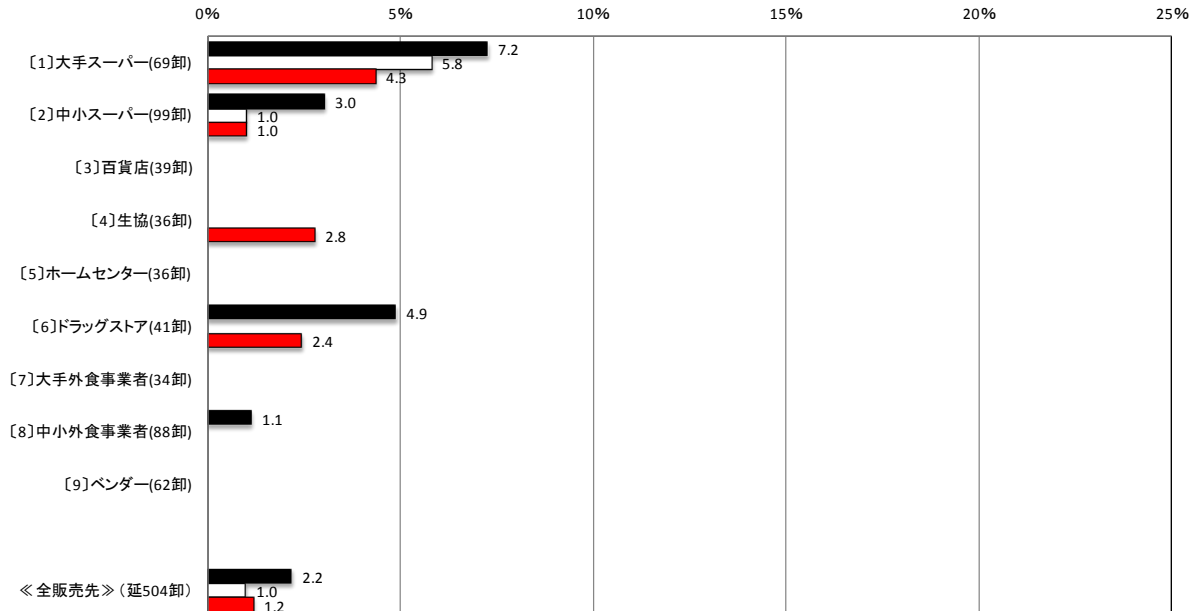
- 最も多く選択されたのは、「①派遣費用を負担することなく、販売先の利益にしかならない業務を行うよう要請され、従業員等を派遣」で、《全販売先》で1.5%（延10卸）であった。  
販売先区分では、〔2〕大手食品スーパーが4卸と最も高く、次いで〔7〕ドラッグストアが2卸、〔1〕大手総合スーパー、〔3〕中小食品スーパー、〔6〕ホームセンター、〔9〕コンビニエンスストアが1卸とであった。
- 「②納入商品の販売業務に併せて他の納入業者の商品の販売業務にも貴卸の従業員を従事させた。」は《全販売先》で0.9%（延6卸）であった。  
販売先区分では、〔2〕大手食品スーパーが2卸、〔1〕大手総合スーパー、〔3〕中小食品スーパー、〔4〕百貨店、〔6〕ホームセンターが各1卸とであった。
- 「③従業員等の派遣に際して、一律に日当の額を定めるのみであって、交通費等の費用が発生するにもかかわらず、当該費用を負担しない。」は《全販売先》で0.5%（延3卸）であった。  
販売先区分では、〔2〕大手食品スーパーが2卸、〔1〕大手総合スーパーが1卸とであった。
- 「④販売先の棚卸業務のためのアルバイトの賃金を負担させた。」は選択がなかった。
- 「⑤その他」では、「商品陳列などの派遣要請における派遣費用、交通費の申請については、他社もしないため、申請しづらく、申請していない。」との実例が1卸あった。

### 問7-2「従業員等の派遣の要請」の具体的内容



- ① 派遣費用を負担することなく、販売先の利益にしかならない業務を行うよう要請され、従業員等を派遣。  
□ ② 納入商品の販売業務に併せて他の納入業者の商品の販売業務にも貴卸の従業員を従事させた。  
■ ③ 従業員等の派遣に際して、一律に日当の額を定めるのみであって、交通費等の費用が発生するにもかかわらず、当該費用を負担しない。  
■ ④ 販売先の棚卸業務のためのアルバイトの賃金を負担させた。(0卸)  
■ ⑤ その他(0卸)

### 23年度 問32「納入業者の従業員等の不当使用等」の具体的内容



- ① 派遣費用を負担することなく、販売先の利益にしかならない業務を行うよう要請され、従業員等を派遣。  
□ ② 納入商品の販売業務に併せて他の納入業者の商品の販売業務にも貴卸の従業員を従事させた。  
■ ③ 従業員等の派遣に際して、一律に日当の額を定めるのみであって、交通費等の費用が発生するにもかかわらず、当該費用を負担しない。

問7-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 派遣費用を負担することなく、販売先の利益にしかならない業務を行うよう要請され、従業員等を派遣。	24年度調査	1 卸 2.6 %	4 卸 6.3 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	2 卸 4.8 %
	23年度調査	—	5 卸 7.2 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 1.8 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 3.2 ポイント	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイント
② 納入商品の販売業務に併せて他の納入業者の商品の販売業務にも貴社の従業員を従事させた。	24年度調査	1 卸 2.6 %	2 卸 3.1 %	1 卸 1.2 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	4 卸 5.8 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 + 0.2 ポイント	+ 1 卸 + 2.9 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 3.2 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
③ 従業員等の派遣に際して、一律に日当の額を定めるのみであって、交通費等の費用が発生するにもかかわらず、当該費用を負担しない。	24年度調査	1 卸 2.6 %	2 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	3 卸 4.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.2 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイント
④ 販売先の棚卸業務のためのアルバイトの賃金を負担させた。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
⑤ その他	24年度調査	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	99 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 15 卸	▲ 4 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	+ 1 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	1 卸 4.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 10 卸 1.5 %
—	—	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 11 卸 2.2 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.7 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 6 卸 0.9 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 5 卸 1.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 0 卸 ▲ 0.1 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.5 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 6 卸 1.2 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.7 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 0 卸 + 0.2 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	34 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 504 卸
—	—	+ 1 卸	▲ 16 卸	+ 20 卸	—	—	延 ▲ 25 卸

問 8 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)



**問 9 昨年に比べて「従業員等の派遣の要請」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。**

〔 1〕 大型総合スーパー

- 棚卸、新規出店、決算セール等での従業員派遣要請で、日当、交通費等の請求書式は送付されてくるが、他業者も含め請求は行なわれていない。
- 以前は、店舗の新規オープン等で、従業員の派遣要請はあったが、最近は存在しなくなった。

〔 2〕 大手食品スーパー

- 独占禁止法に基づく公取の立入調査により「派遣の要請」を中止する。
- 棚卸、新規出店、決算セール等での従業員派遣要請で、日当、交通費等の請求書式は送付されてくるが、他業者も含め請求は行なわれていない。

〔 3〕 中小食品スーパー

- 棚卸、新規出店、決算セール等での従業員派遣要請で、日当、交通費等の請求書式は送付されてくるが、他業種も含め請求は行なわれていない。

〔 7〕 ドラッグストア

- 独占禁止法に基づく見直しで中止している。

〔 8〕 ディスカウントストア

- 棚卸、新規出店、決算セール等での従業員派遣要請で、日当、交通費等の請求書式は送付されてくるが、他業者も含め請求は行なわれていない。

＜ 4. 独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ロ（(3) 経済上の利益の提供の要請）

について＞（問 10～問 12）（別紙 2 P 14）

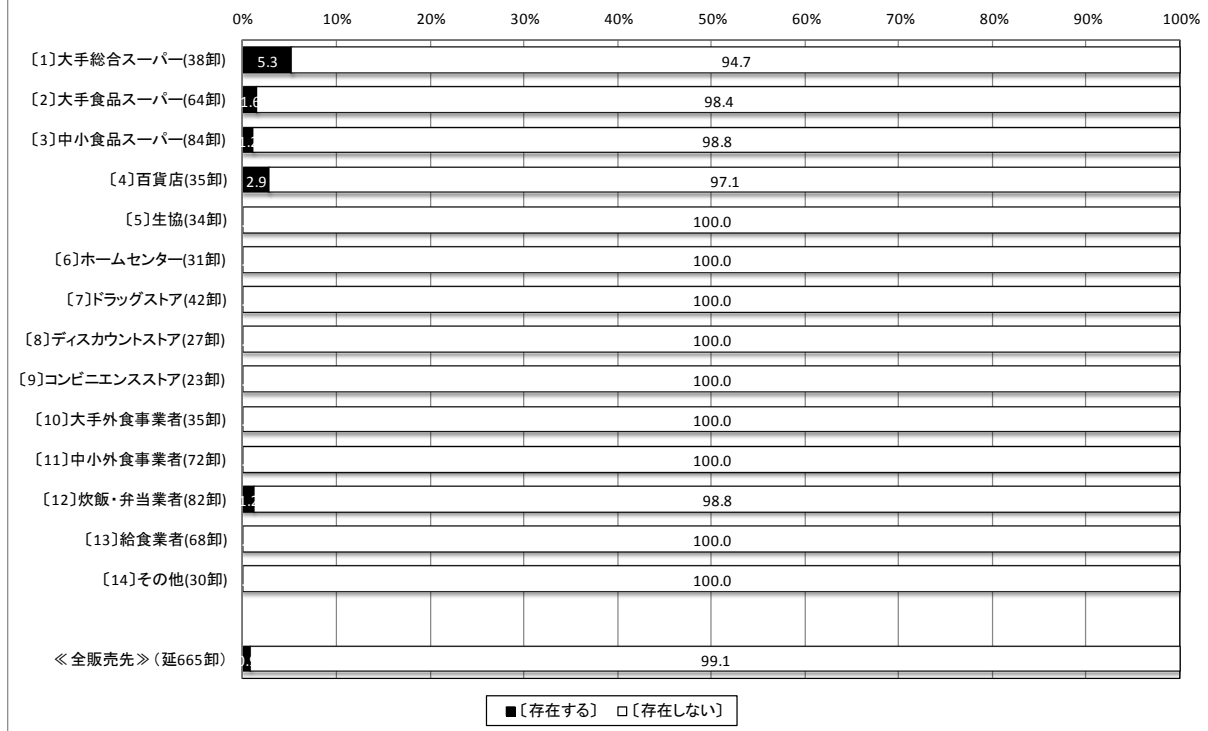
問 10 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した、問 4、問 7 以外の「経済上の利益の提供の要請」（販売先のためにその他の経済上の利益を正常な商習慣に照らして不当に提供させること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。（新規調査項目）

- 「経済上の利益の提供の要請」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で 0.9%、延 6 卸であった。
- [1] 大手総合スーパーが 2 卸、[2] 大手食品スーパー、[3] 中小食品スーパー、[4] 百貨店、[12] 炊飯・弁当業者が各 1 卸であった。

問10 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	2 卸 5.3 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
〔存在しない〕	24年度調査	36 卸 94.7 %	63 卸 98.4 %	83 卸 98.8 %	34 卸 97.1 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—

### 問 10 「経済上の利益の提供の要請」の有無



〔8〕ディスカ ストア	〔9〕コンビニエ ンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 6 卸 0.9 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	81 卸 98.8 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 659 卸 99.1 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

問 10-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑤ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

#### 想定例

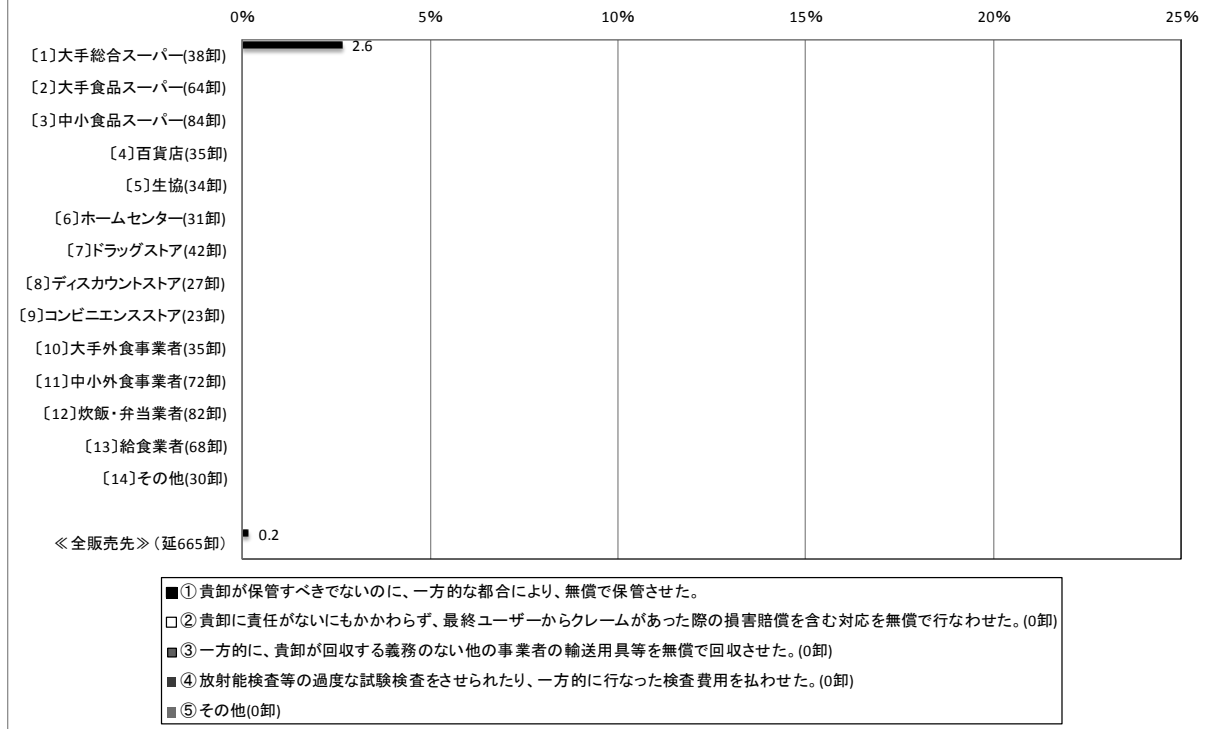
- ① 貴卸が保管すべきでないのに、一方的な都合により、無償で保管させた。
- ② 貴卸に責任がないにもかかわらず、最終ユーザーからクレームがあった際の損害賠償を含む対応を無償で行なわせた。
- ③ 一方的に、貴卸が回収する義務のない他の事業者の輸送用具等を無償で回収させた。
- ④ 放射能検査等の過度な試験検査をさせられたり、一方的に行なった検査費用を払わせた。
- ⑤ その他

- 選択されたのは、1 卸による〔1〕大手総合スーパーの想定例「①貴卸が保管すべきでないのに、一方的な都合により、無償で保管させた。」のみで2.6%、《全販売先》でも0.2%であった。

問10-2 データテーブル

		〔1〕大手総合スーパー	〔2〕大手食品スーパー	〔3〕中小食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕ホームセンター	〔7〕ドラッグストア
① 貴卸が保管すべきでないのに、一方的な都合により、無償で保管させた。	24年度調査	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
② 貴卸に責任がないにもかかわらず、最終ユーザーからクレームがあった際の損害賠償を含む対応を無償で行なわせた。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
③ 一方的に、貴卸が回収する義務のない他の事業者の輸送用具等を無償で回収させた。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
④ 放射能検査等の過度な試験検査をさせられたり、一方的に行なった検査費用を払わせた。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
⑤ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸

## 問10-2「経済上の利益の提供の要請」の具体的内容



[8] ディスカウントストア	[9] コンビニエンスストア	[10] 大手外食事業者	[11] 中小外食事業者	[12] 炊飯・弁当業者	[13] 給食業者	[14] その他	《全販売先》
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 1 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸

問 11 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 12 昨年に比べて、問4、問7以外の「経済上の利益の提供の要請」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

〔5〕 生協

- 以前はDNA鑑定にともなう費用負担があったが、鑑定を行わなくなったため、費用負担がなくなった。

＜ 5. 独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ハ（(1) 受領拒否）について＞

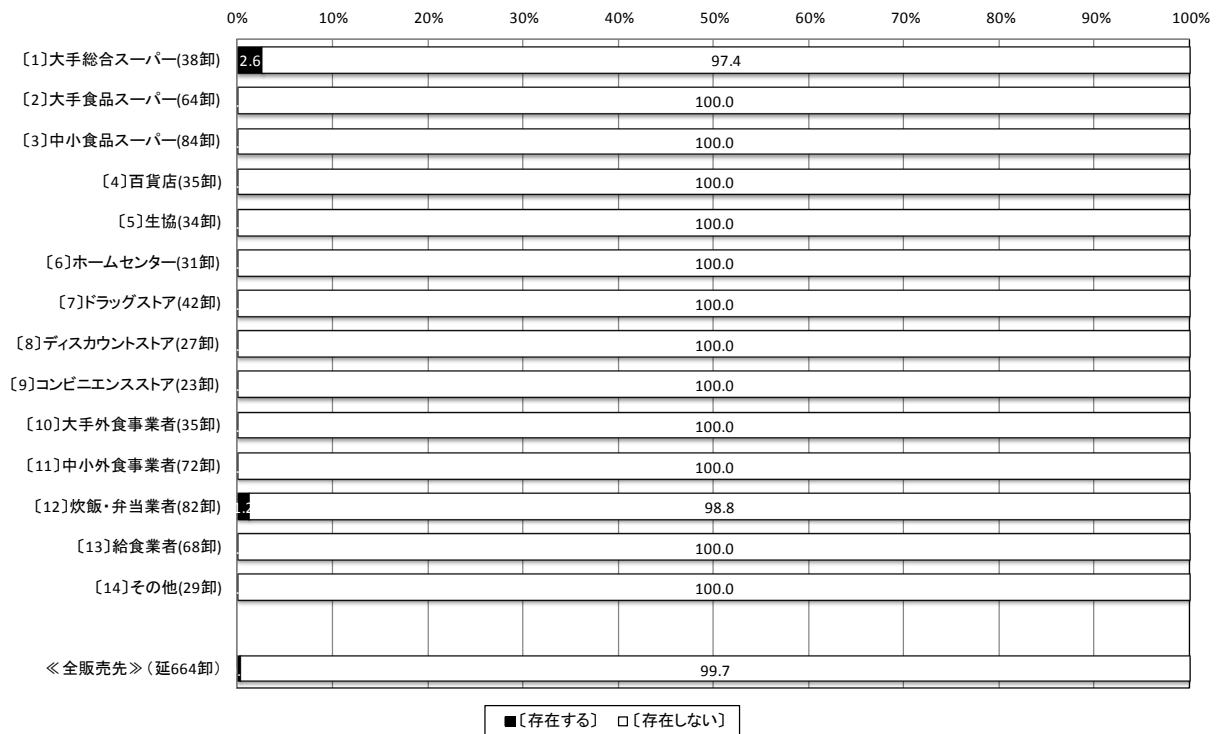
（問 13～問 15）（別紙 2 P 15～17）

**問 13** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「受領拒否」（商品を購入する契約をした後において、正当な理由がないのに商品の受領を拒むこと。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

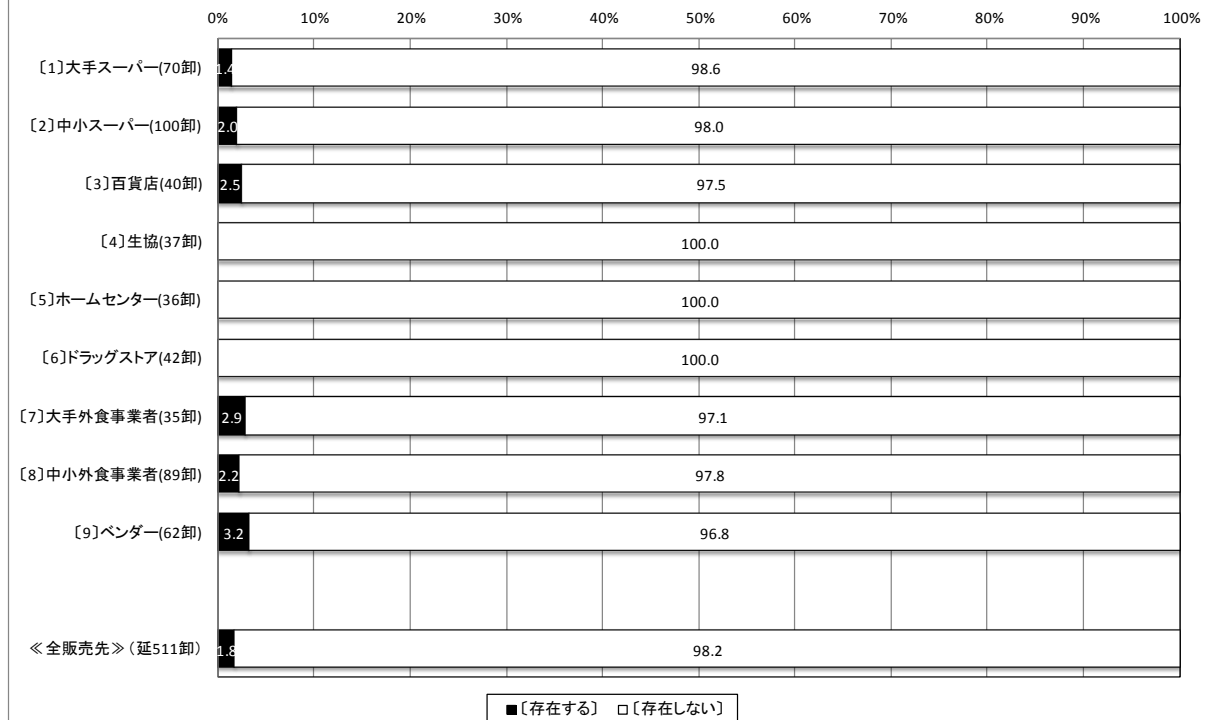
- 「受領拒否」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》では延 2 卸（0.3%）であり、前回調査の「特別注文品の受領拒否」で「存在する」と回答した延 9 卸（1.8%）より▲1.5 卸減少した。
- 販売先区分では、〔1〕大手総合スーパーが 2.6%（1 卸）、〔12〕炊飯・弁当業者が 1.2%（1 卸）であった。



### 問 13 「受領拒否」の有無



### 23年度 問21 「特別注文品の受領拒否」の有無



問13 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.5 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
〔存在しない〕	24年度調査	37 卸 97.4 %	64 卸 100.0 %	84 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	23年度調査	—	69 卸 98.6 %	98 卸 98.0 %	39 卸 97.5 %	37 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	増減	—	▲ 5 卸 + 1.4 ポイント	▲ 14 卸 + 2.0 ポイント	▲ 4 卸 + 2.5 ポイント	▲ 3 卸 ± 0 ポイント	▲ 5 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 16 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.3 %
—	—	1 卸 2.9 %	2 卸 2.2 %	2 卸 3.2 %	—	—	延 9 卸 1.8 %
—	—	▲ 1 卸 ▲ 2.9 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.0 ポイント	—	—	延 ▲ 7 卸 ▲ 1.5 ポイント
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	81 卸 98.8 %	68 卸 100.0 %	29 卸 100.0 %	延 662 卸 99.7 %
—	—	34 卸 97.1 %	87 卸 97.8 %	60 卸 96.8 %	—	—	延 502 卸 98.2 %
—	—	+ 1 卸 + 2.9 ポイント	▲ 15 卸 + 2.2 ポイント	+ 21 卸 + 2.0 ポイント	—	—	延 + 160 卸 + 1.5 ポイント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	29 卸	延 664 卸
—	—	35 卸	89 卸	62 卸	—	—	延 511 卸
—	—	± 0 卸	▲ 17 卸	+ 20 卸	—	—	延 + 153 卸

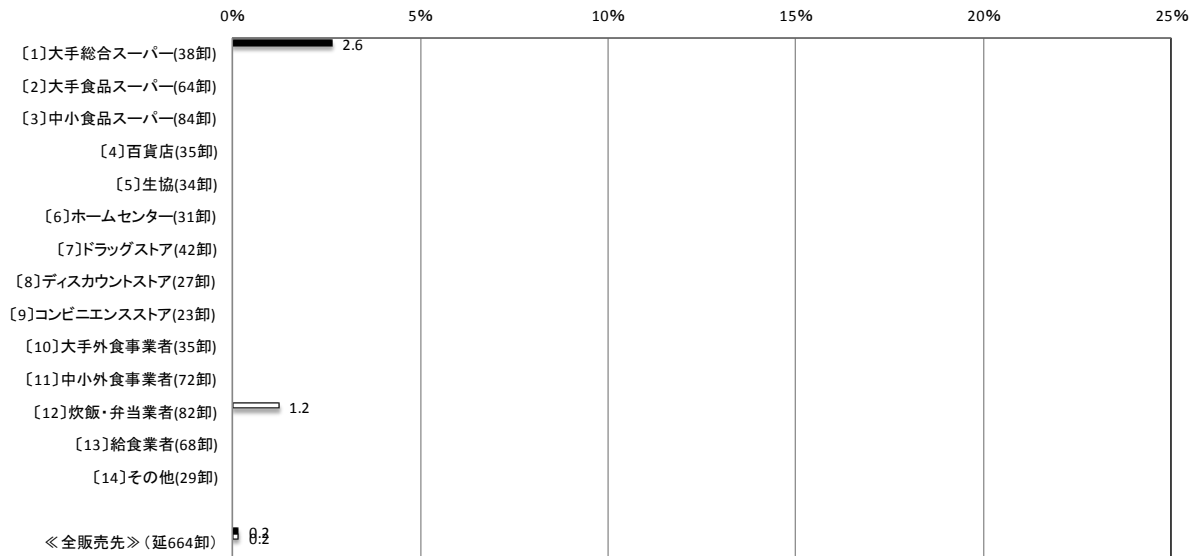
問 13-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑥ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

**想定例**

- ① 発注に基づき商品を納入しようとしたところ、売行き不振で当該商品が不要になったとして受領を拒否。
- ② 検査基準を恣意的に厳しくして、発注内容と異なることを理由に受領を拒否。
- ③ 特定の仕様を指示して商品の製造を発注した後、顧客から当該商品の注文が取り消されたこと等を理由に、当該商品の受領を拒否。
- ④ 発注した後になって、あらかじめ合意した納期を、一方的に短く変更し、その納期までに納入が間に合わなかったとして商品の受領を拒否。
- ⑤ 商品の検査を行ない、不良品があったロットのみ受領しない契約であるにもかかわらず、あるロットで不良品が見つかった際、すべてのロットの受領を拒否。
- ⑥ その他

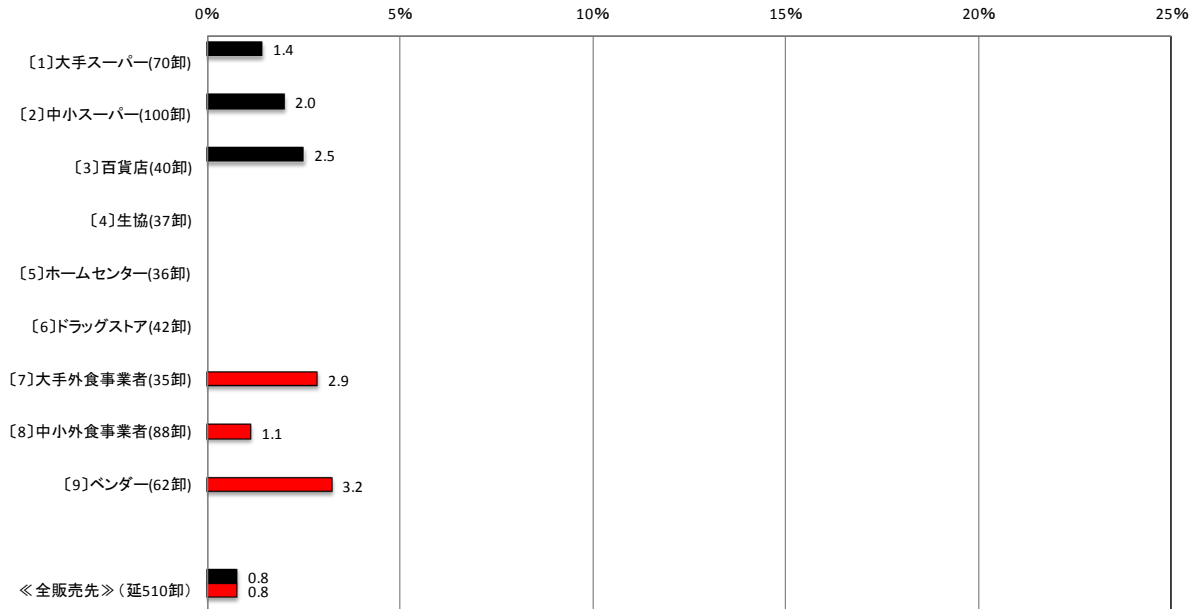
- 〔1〕大手総合スーパーで「①発注に基づき商品を納入しようとしたところ、売行き不振で当該商品が不要になったとして受領を拒否。」を回答したのが1卸（2.6%）、〔12〕炊飯・弁当業者で「②検査基準を恣意的に厳しくして、発注内容と異なることを理由に受領を拒否。」を回答したのが1卸（1.2%）であった。

### 問13-2「受領拒否」の具体的内容



- ① 発注に基づき商品を購入しようとしたところ、売行き不振で当該商品が不要になったとして受領を拒否。
- ② 検査基準を恣意的に厳しくして、発注内容と異なることを理由に受領を拒否。
- ③ 特定の仕様を指示して商品の製造を発注した後、顧客から当該商品の注文が取り消されたこと等を理由に、当該商品の受領を拒否。(0卸)
- ④ 発注した後になって、あらかじめ合意した納期を、一方的に短く変更し、その納期までに納入が間に合わなかったとして商品の受領を拒否。(0卸)
- ⑥ その他(0卸)

### 23年度 問22「特別注文品の受領拒否」の具体的内容



- ① 発注に基づき商品を購入しようとしたところ、売行き不振で当該商品が不要になったとして受領を拒否。
- ③ 特定の仕様を指示して商品の製造を発注した後、顧客から当該商品の注文が取り消されたこと等を理由に、当該商品の受領を拒否。
- ⑥ その他(0卸)

問13-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 発注に基づき商品 を納入しようとしたところ、 売行き不振で当該商品が不要 になったとして受領を拒否。	24年度調査	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	— —	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.5 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
② 検査基準を恣意的に厳しくして、 発注内容と異なることを理由に受領 を拒否。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	増減	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
③ 特定の仕様を指示して商品の製造を 発注した後、顧客から当該商品の注文が取り消されたこと等を理由に、 当該商品の受領を拒否。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	— —	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
④ 発注した後に、あらかじめ合意した納期を、 一方的に短く変更し、その納期までに納入が間に合わなかったとして商品の 受領を拒否。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	増減	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
⑤ 商品の検査を行ない、不良品があつたロットのみ受領しない契約であるにもかかわらず、 あるロットで不良品が見つかった際、すべてのロットの受領を拒否。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	増減	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
⑥ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	— —	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 16 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
— —	— —	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	— —	— —	延 4 卸 0.8 %
— —	— —	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	— —	— —	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.6 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 + 0 卸 + 0.2 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	2 卸 3.2 %	— —	— —	延 4 卸 0.8 %
— —	— —	▲ 1 卸 ▲ 2.9 ポイ ント	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ ント	▲ 2 卸 ▲ 3.2 ポイ ント	— —	— —	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.8 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 + 0 卸 ± 0 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	延 + 0 卸 ± 0 ポイ ント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	— —	— —	延 0 卸 0.0 %
— —	— —	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	— —	— —	延 + 0 卸 ± 0 ポイ ント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	29 卸	延 664 卸
—	—	35 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 510 卸
—	—	± 0 卸	▲ 16 卸	+ 20 卸	—	—	延 ▲ 31 卸

問 14 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)



問 15 昨年比べて、「受領拒否」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

※ 回答がなかった。

＜ 6．独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ハ（(2) 返品）について＞

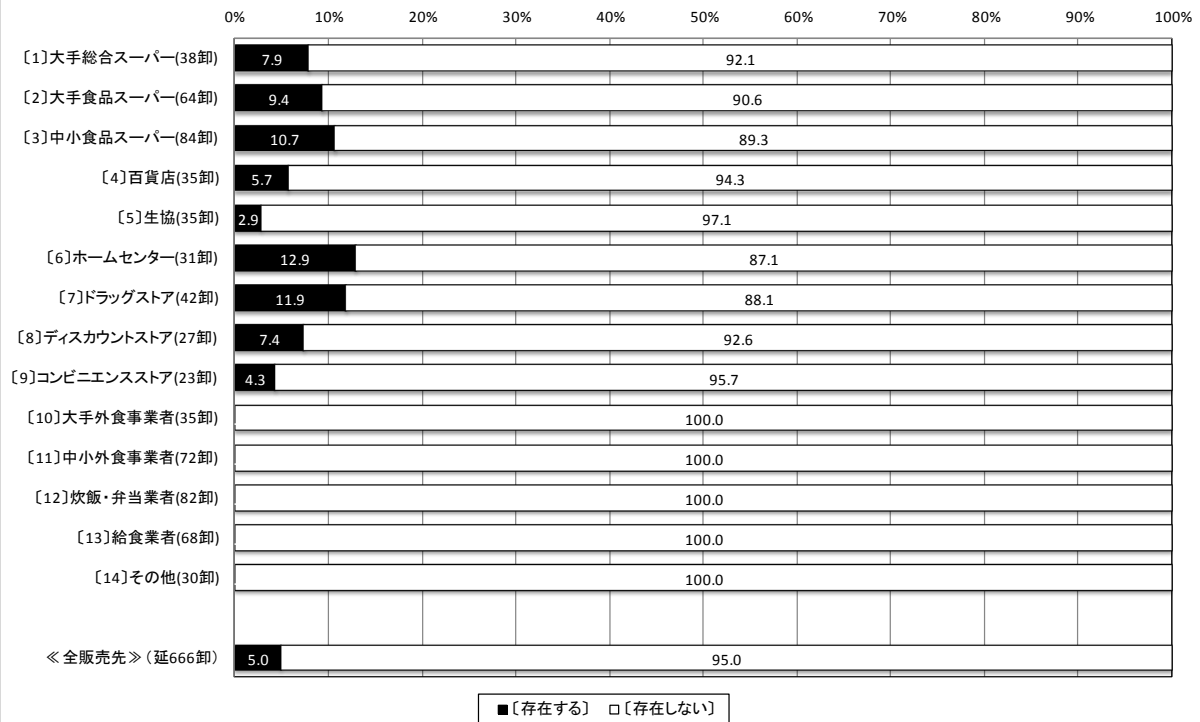
（問 1 6～問 1 8）（別紙 2 P 1 7～1 8）

**問 1 6** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「返品」（取引に係る商品を受領した後、正当な理由がないのに当該商品を引き取らせること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

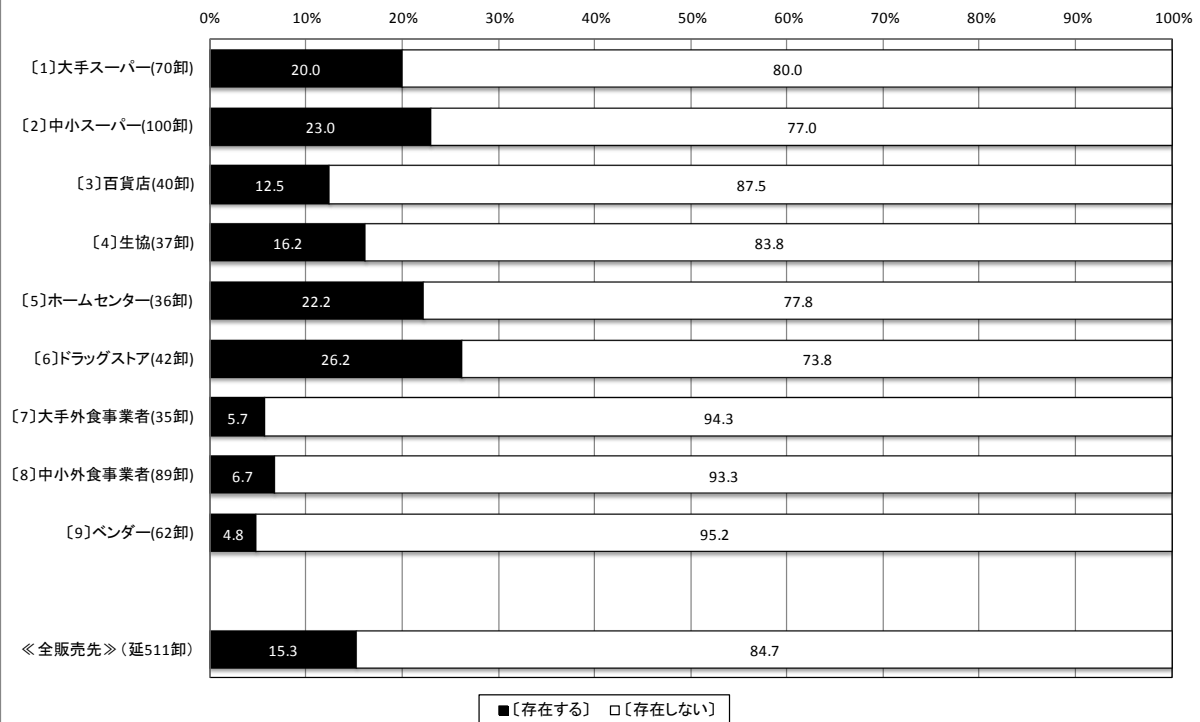
- 「返品が存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で前回の 15.3%（延 78 卸）から大きく減少し、5.0%（延 33 卸）であった。
- 販売先区分では、〔6〕ホームセンター12.9%（4 卸）が最も高く、以下、〔7〕ドラッグストア 11.9%（5 卸）、〔3〕中小食品スーパー10.7%（9 卸）、〔2〕大手食品スーパー9.4%（6 卸）、〔1〕大手総合スーパー7.9%（3 卸）、〔8〕ディスカウントストア 7.4%（2 卸）、〔4〕百貨店 5.7%（2 卸）、〔9〕コンビニエンスストア 4.3%（1 卸）、〔5〕生協 2.9%（1 卸）であった。

なお、〔10〕大手外食事業者、〔11〕中小外食事業者、〔12〕炊飯・弁当業者、〔13〕給食業者、〔14〕その他は、「存在する」という回答はなかった。

### 問 16 「返品」の有無



### 23年度 問2 「不当な返品」の有無



問16 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	3 卸 7.9 %	6 卸 9.4 %	9 卸 10.7 %	2 卸 5.7 %	1 卸 2.9 %	4 卸 12.9 %	5 卸 11.9 %
	23年度調査	— —	14 卸 20.0 %	23 卸 23.0 %	5 卸 12.5 %	6 卸 16.2 %	8 卸 22.2 %	11 卸 26.2 %
	増減	— —	▲ 8 卸 ▲ 10.6 ポイ	▲ 14 卸 ▲ 12.3 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 6.8 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 13.4 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.3 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 14.3 ポイ
〔存在しない〕	24年度調査	35 卸 92.1 %	58 卸 90.6 %	75 卸 89.3 %	33 卸 94.3 %	34 卸 97.1 %	27 卸 87.1 %	37 卸 88.1 %
	23年度調査	— —	56 卸 80.0 %	77 卸 77.0 %	35 卸 87.5 %	31 卸 83.8 %	28 卸 77.8 %	31 卸 73.8 %
	増減	— —	+ 2 卸 + 10.6 ポイ	▲ 2 卸 + 12.3 ポイ	▲ 2 卸 + 6.8 ポイ	+ 3 卸 + 13.4 ポイ	▲ 1 卸 + 9.3 ポイ	+ 6 卸 + 14.3 ポイ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	35 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 16 卸	▲ 5 卸	▲ 2 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
2 卸 7.4 %	1 卸 4.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 33 卸 5.0 %
—	—	2 卸 5.7 %	6 卸 6.7 %	3 卸 4.8 %	—	—	延 78 卸 15.3 %
—	—	▲ 2 卸 ▲ 5.7 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 6.7 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 4.8 ポイ	—	—	延 ▲ 45 卸 ▲ 10.3 ポイ
25 卸 92.6 %	22 卸 95.7 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	82 卸 100.0 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 633 卸 95.0 %
—	—	33 卸 94.3 %	83 卸 93.3 %	59 卸 95.2 %	—	—	延 433 卸 84.7 %
—	—	+ 2 卸 + 5.7 ポイ	▲ 11 卸 + 6.7 ポイ	+ 23 卸 + 4.8 ポイ	—	—	延 + 200 卸 + 10.3 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 666 卸
—	—	35 卸	89 卸	62 卸	—	—	延 511 卸
—	—	± 0 卸	▲ 17 卸	+ 20 卸	—	—	延 + 155 卸

問 16-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑨ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

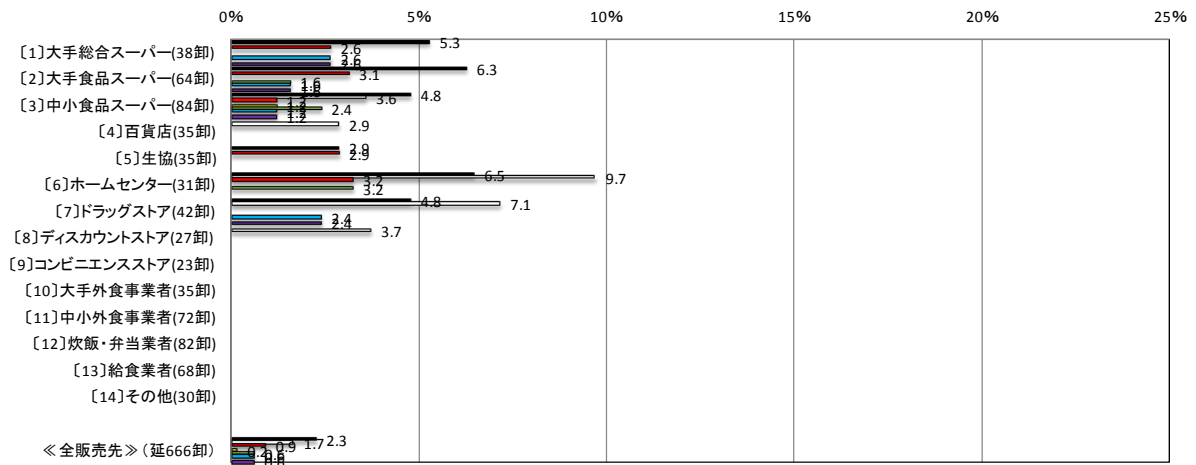
**想定例**

- ① 販売先の責任により汚損した商品を返品。
- ② 独自に短い販売期限を一方的に定め、この販売期限が経過したことを理由に返品。
- ③ プライベート・ブランド商品を返品。
- ④ 月末又は期末の在庫調整のために返品。
- ⑤ 店舗等の改装や棚替えを理由に返品。
- ⑥ セール終了後に売れ残ったことを理由に返品。
- ⑦ 購入客から返品されたことを理由に返品。
- ⑧ 直ちに発見できる瑕疵であったにもかかわらず、検品に要する標準的な期間をはるかに経過した後になって、瑕疵があることを理由に返品。
- ⑨ その他

- 「①販売先の責任により汚損した商品を返品。」は、前回の7.8%（延39卸）から2.3%（延15卸）に大きく減少したが、前回の調査同様、最も回答が多かった。  
販売先区分は前回14卸あった〔3〕中小食品スーパーが4卸に大きく減少した。
- 「②独自に短い販売期限を一方的に定め、この販売期限が経過したことを理由に返品。」は前回調査の4.4%（延22卸）から1.7%（延11卸）に大きく減少した。  
販売先区分は昨年6卸あった〔2〕大手食品スーパーがなくなり、8卸あった〔3〕中小食品スーパーが3卸に減少した。
- 「③プライベート・ブランド商品を返品。」は、前回の調査では選択肢がなかったが、今回の調査では0.9%（延6卸）あった。  
販売先区分は、〔2〕大手食品スーパーが2卸、〔1〕大手総合スーパー、〔3〕中小食品スーパー、〔5〕生協、〔6〕ホームセンターが各1卸であった。
- 「⑤店舗等の改装や棚替えを理由に返品。」は〔3〕中小食品スーパーで1卸であった。
- 「⑥セール終了後に売れ残ったことを理由に返品。」は前回調査の3%（延15卸）から0.6%（延4卸）へ大きく減少した。  
販売区分では、前回の調査で4卸あった〔7〕ドラッグストアがなくなった。
- 「⑦購入客から返品されたことを理由に返品。」は前回調査の2.4%（延12卸）から0.6%（延4卸）へ大きく減少した。  
販売先区分では前回の調査で5卸あった〔3〕中小食品スーパーが1卸になった。
- 「④月末又は期末の在庫調整のために返品。」と「⑧直ちに発見できる瑕疵であったにもかかわらず、検品に要する標準的な期間をはるかに経過した後になって、瑕疵があることを理由に返品。」は選択がなかった。



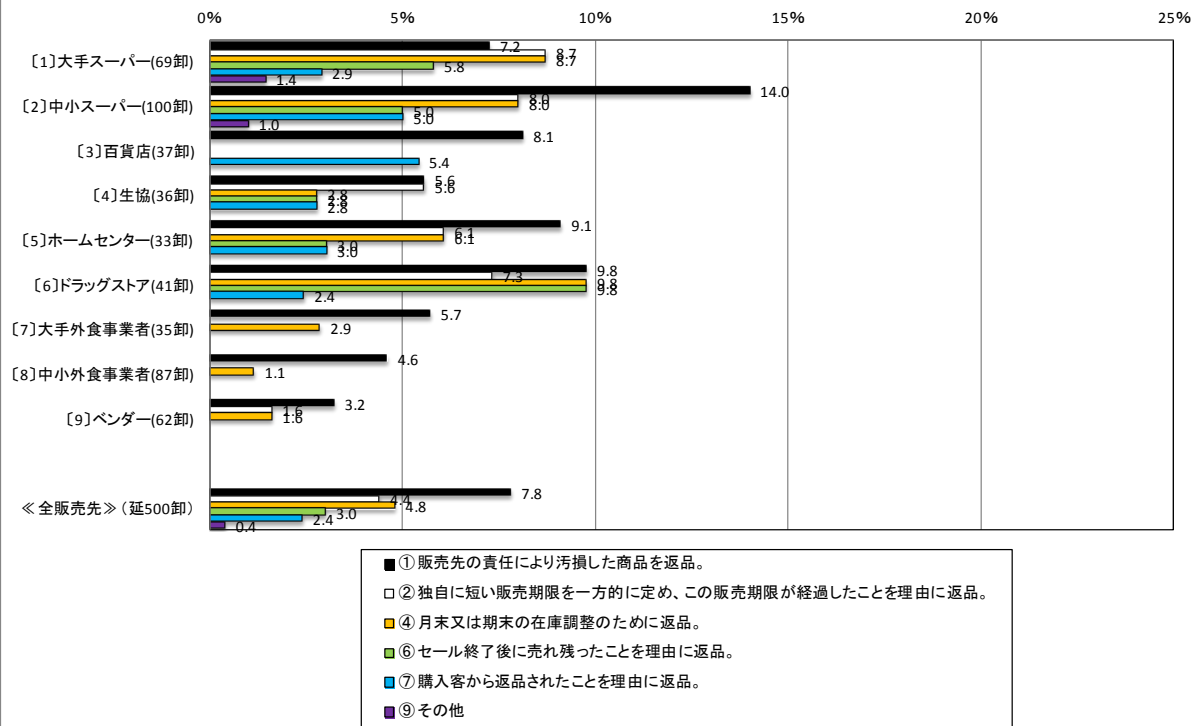
## 問16-2「返品」の具体的内容



- ① 販売先の責任により汚損した商品を返品。
- ② 独自に短い販売期限を一時的に定め、この販売期限が経過したことを理由に返品。
- ③ プライベート・ブランド商品を返品。
- ④ 月末又は期末の在庫調整のために返品。(0卸)
- ⑤ 店舗等の改装や棚替えを理由に返品。
- ⑥ セール終了後に売れ残ったことを理由に返品。
- ⑦ 購入客から返品されたことを理由に返品。
- ⑧ 直ちに発見できる瑕疵であったにもかかわらず、検品に要する標準的な期間をはるかに経過した後になって、瑕疵があることを理由に返品。(0卸)
- ⑨ その他



### 23年度 問3「不当な返品」の具体的内容



問16-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 販売先の責任により汚損した商品を返品。	24年度調査	2 卸 5.3 %	4 卸 6.3 %	4 卸 4.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	2 卸 6.5 %	2 卸 4.8 %
	23年度調査	—	5 卸 7.2 %	14 卸 14.0 %	3 卸 8.1 %	2 卸 5.6 %	3 卸 9.1 %	4 卸 9.8 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイ	▲ 10 卸 ▲ 9.2 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 8.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.6 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.0 ポイ
② 独自に短い販売期限を一時的に定め、この販売期限が経過したことを理由に返品。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	3 卸 3.6 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	3 卸 9.7 %	3 卸 7.1 %
	23年度調査	—	6 卸 8.7 %	8 卸 8.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.6 %	2 卸 6.1 %	3 卸 7.3 %
	増減	—	▲ 6 卸 ▲ 8.7 ポイ	▲ 5 卸 ▲ 4.4 ポイ	+ 1 卸 + 2.9 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.6 ポイ	+ 1 卸 + 3.6 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.2 ポイ
③ プライベート・ブランド商品を返品。	24年度調査	1 卸 2.6 %	2 卸 3.1 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	1 卸 3.2 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
④ 月末又は期末の在庫調整のために返品。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	6 卸 8.7 %	8 卸 8.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 6.1 %	4 卸 9.8 %
	増減	—	▲ 6 卸 ▲ 8.7 ポイ	▲ 8 卸 ▲ 8.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 6.1 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.8 ポイ
⑤ 店舗等の改装や棚替えを理由に返品。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
⑥ セール終了後に売れ残ったことを理由に返品。	24年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	2 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	4 卸 5.8 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	1 卸 3.0 %	4 卸 9.8 %
	増減	—	▲ 3 卸 ▲ 4.2 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	± 0 卸 + 0.2 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 9.8 ポイ
⑦ 購入客から返品されたことを理由に返品。	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	—	2 卸 2.9 %	5 卸 5.0 %	2 卸 5.4 %	1 卸 2.8 %	1 卸 3.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	—	▲ 1 卸 ▲ 1.3 ポイ	▲ 4 卸 ▲ 3.8 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 5.4 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 2.8 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 3.0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.1 ポイ
⑧ 直ちに発見できる瑕疵であったにもかかわらず、検品に要する標準的な期間をはるかに経過した後になって、瑕疵があることを理由に返品。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
⑨ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 + 0.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	35 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	100 卸	37 卸	36 卸	33 卸	41 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 16 卸	▲ 2 卸	▲ 1 卸	▲ 2 卸	+ 1 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 15 卸 2.3 %
—	—	2 卸 5.7 %	4 卸 4.6 %	2 卸 3.2 %	—	—	延 39 卸 7.8 %
—	—	▲ 2 卸 ▲ 5.7 ポイント	▲ 4 卸 ▲ 4.6 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 3.2 ポイント	—	—	延 ▲ 26 卸 ▲ 5.5 ポイント
1 卸 3.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 11 卸 1.7 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 22 卸 4.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイント	—	—	延 ▲ 12 卸 ▲ 2.7 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 6 卸 0.9 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 + 0.9 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 24 卸 4.8 %
—	—	▲ 1 卸 ▲ 2.9 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイント	—	—	延 ▲ 24 卸 ▲ 4.8 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 + 0.2 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 15 卸 3.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	—	—	延 ▲ 11 卸 ▲ 2.4 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 12 卸 2.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	—	—	延 ▲ 9 卸 ▲ 1.8 ポイント
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイント
1 卸 3.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.5 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 2 卸 0.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	—	—	延 + 0 卸 + 0.1 ポイント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 666 卸
—	—	35 卸	87 卸	62 卸	—	—	延 500 卸
—	—	± 0 卸	▲ 15 卸	+ 20 卸	—	—	延 ▲ 20 卸

問 17 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

**問 18 昨年に比べて、「返品」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。**

〔 2〕 大手食品スーパー

- 返品を受けないとの交渉を行ない減少した。
- 相手方に返品をなくすよう要望しているため、減少している。

〔 3〕 中小食品スーパー

- 他業者が日付の古い商品を積極的に交換（返品）している関係で、応じざるを得なくなり増加した。

〔 4〕 百貨店

- 担当者が変わったため、減少した。
- 一部百貨店で古くなった商品の返品が依然としてある。

〔 7〕 ドラッグストア

- 店頭価格が高いため、返品が増えた。

< 7. 独占禁止法第2条第9項第5号ハ（(3) 支払遅延）について >

（問19～問21）（別紙2P19）

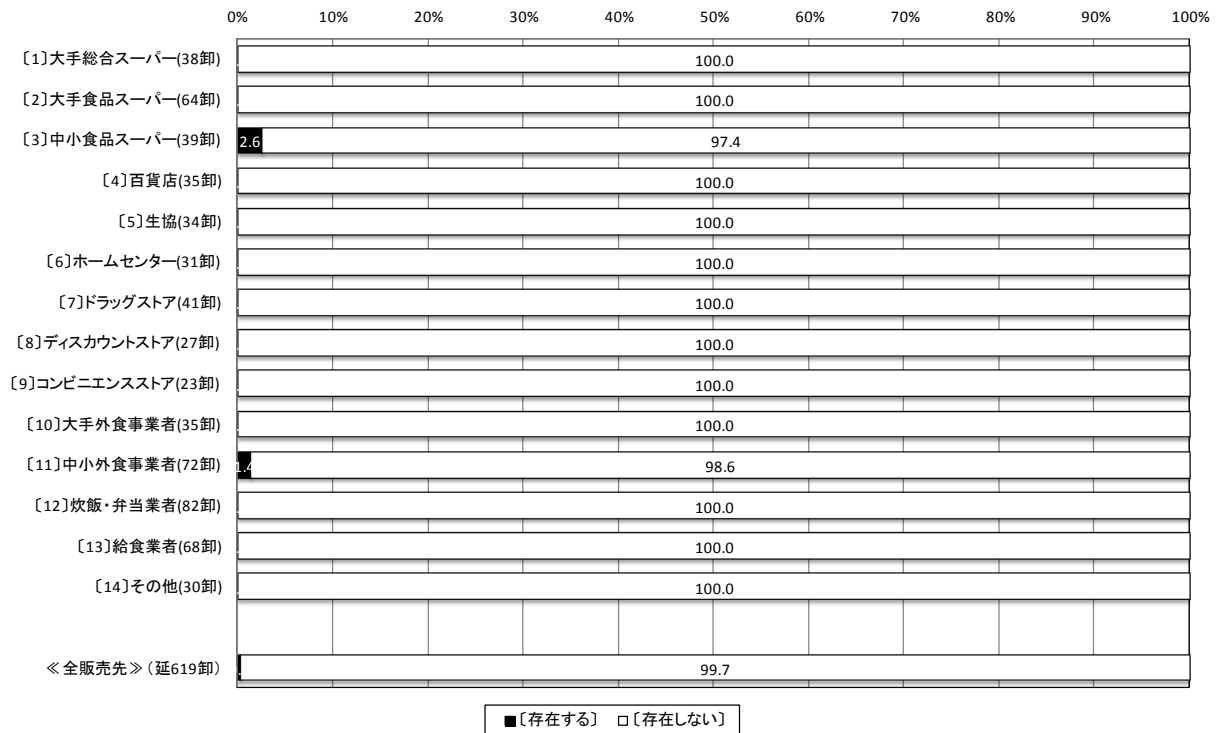
**問 19** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「支払遅延」（正当な理由がないのに、契約で定めた支払期日に取引の対価を支払わないこと。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。（新規調査項目）

- 「支払遅延」が「存在する」と回答した卸は、〔3〕中小食品スーパーと〔11〕中小外食事業者で、各1卸、延2卸のみであった。

問19 データテーブル

		〔1〕大手 総合スーパー	〔2〕大手 食品スーパー	〔3〕中小 食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕 ホームセンター	〔7〕 ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
〔存在しない〕	24年度調査	38 卸 100.0 %	64 卸 100.0 %	38 卸 97.4 %	35 卸 100.0 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	41 卸 100.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	39 卸	35 卸	34 卸	31 卸	41 卸
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—

### 問 19 「支払遅延」の有無



〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.3 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	71 卸 98.6 %	82 卸 100.0 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 617 卸 99.7 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 619 卸
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

問 19-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「④ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。（新規調査項目）

**想定例**

- ① 社内の支払手続の遅延、製品の仕様の変更などを理由として、契約で定めた支払期日に対価を支払わない。
- ② 分割して納入する取引において、初期納入分の提供を受けた後に対価を支払うこととされているにもかかわらず、すべてが納入されていないことを理由として対価の支払を遅らせる。
- ③ 商品の検収を恣意的に遅らせることなどにより、契約で定めた支払期日に対価を支払わない。
- ④ その他

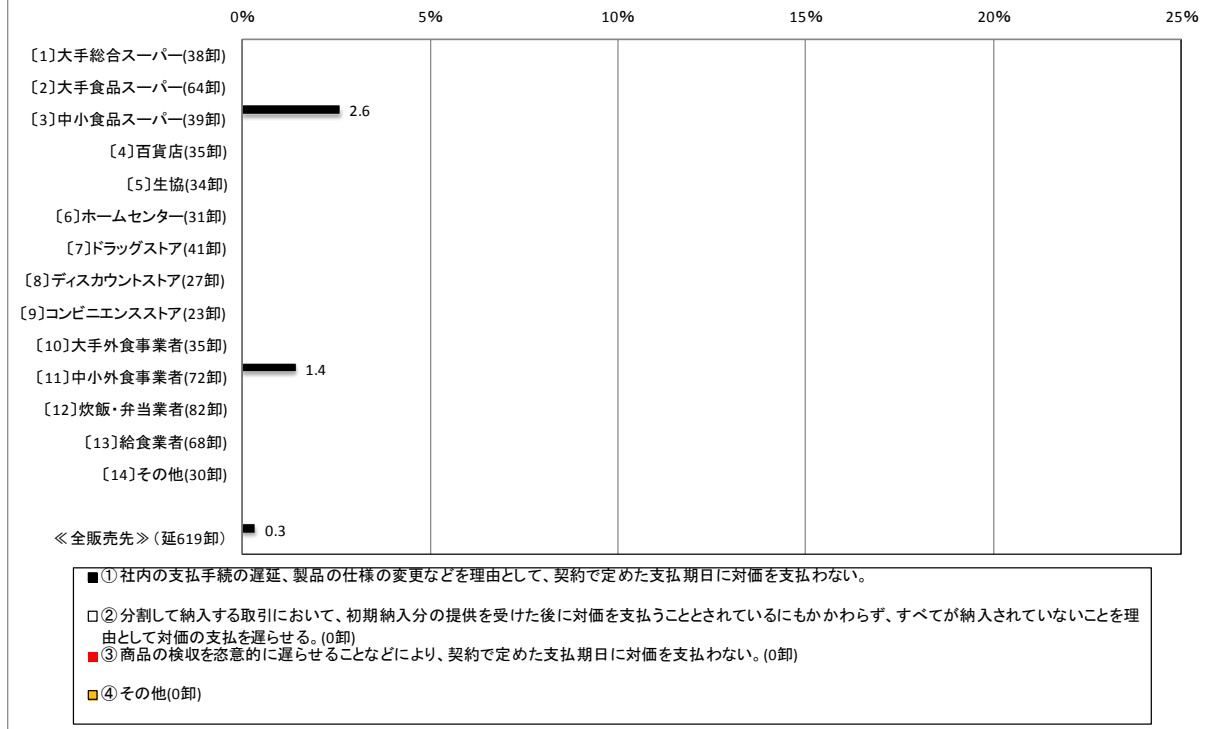
- 「支払遅延」が「存在する」と回答した組合員が〔3〕中小食品スーパーおよび〔11〕中小外食事業者において選択したのはともに「①社内の支払手続の遅延、製品の仕様の変更などを理由として、契約で定めた支払期日に対価を支払わない。」であった。

問19-2 データテーブル

		〔1〕大手総合スーパー	〔2〕大手食品スーパー	〔3〕中小食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕ホームセンター	〔7〕ドラッグストア
① 社内の支払手続の遅延、製品の仕様の変更などを理由として、契約で定めた支払期日に対価を支払わない。	24年度調査	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	2.6 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
② 分割して納入する取引において、初期納入分の提供を受けた後に対価を支払うこととされているにもかかわらず、すべてが納入されていないことを理由として対価の支払を遅らせる。	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
③ 商品の検収を恣意的に遅らせることなどにより、契約で定めた支払期日に対価を支払わない。	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
④ その他	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	39 卸	35 卸	34 卸	31 卸	41 卸



## 問19-2「支払遅延」の具体的内容



[8]ディスカウントストア	[9]コンビニエンスストア	[10]大手外食事業者	[11]中小外食事業者	[12]炊飯・弁当業者	[13]給食業者	[14]その他	<<全販売先>>
0 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 2 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	1.4 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 619 卸

問 20 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 21 昨年と比べて、「支払遅延」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

〔3〕 中小食品スーパー

- 販売先の業績不振により増加した。

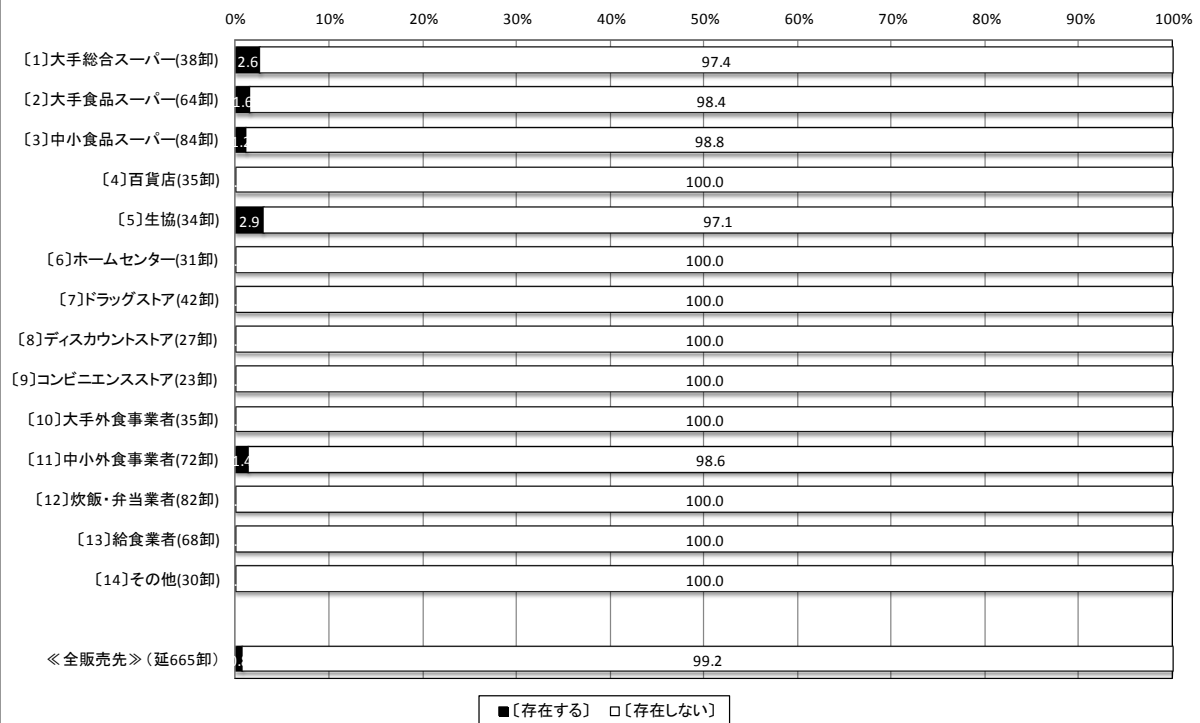
＜ 8. 独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ハ（(4) 減額）について＞

（問 2 2 ～問 2 4）（別紙 2 P 1 9 ～ 2 1）

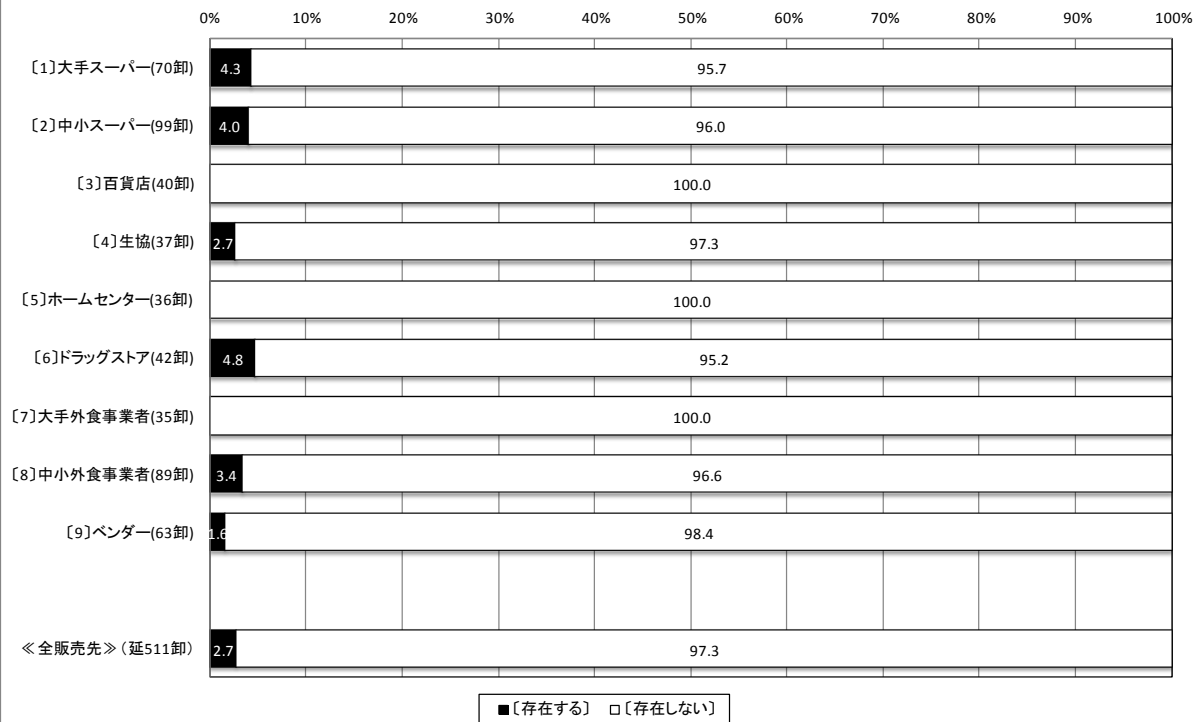
**問 2 2** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「減額」（正当な理由がないのに契約で定めた対価の支払額を減じること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

- 「減額」が「存在する」と回答したのは 0.8%（延 5 卸）であった。
- 販売先区分は、〔1〕大型総合スーパー、〔2〕大手食品スーパー、〔3〕中小食品スーパー、〔5〕生協、〔11〕中小外食事業者で、それぞれ 1 卸であった。

## 問 22 「減額」の有無



## 23年度 問7 「不当な値引」の有無



問22 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	3 卸 4.3 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.8 %
	増減	—	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 2.8 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 4.8 ポイ
		—						
〔存在しない〕	24年度調査	37 卸 97.4 %	63 卸 98.4 %	83 卸 98.8 %	35 卸 100.0 %	33 卸 97.1 %	31 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	23年度調査	—	67 卸 95.7 %	95 卸 96.0 %	40 卸 100.0 %	36 卸 97.3 %	36 卸 100.0 %	40 卸 95.2 %
	増減	—	▲ 4 卸 + 2.7 ポイ	▲ 12 卸 + 2.8 ポイ	▲ 5 卸 ± 0 ポイ	▲ 3 卸 ▲ 0.2 ポイ	▲ 5 卸 ± 0 ポイ	+ 2 卸 + 4.8 ポイ
		—						
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 15 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.8 %
—	—	0 卸 0.0 %	3 卸 3.4 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 14 卸 2.7 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	▲ 2 卸 ▲ 2.0 ポイ ント	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ ント	—	—	延 ▲ 9 卸 ▲ 2.0 ポイ ント
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	71 卸 98.6 %	82 卸 100.0 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 660 卸 99.2 %
—	—	35 卸 100.0 %	86 卸 96.6 %	62 卸 98.4 %	—	—	延 497 卸 97.3 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ ント	▲ 15 卸 + 2.0 ポイ ント	+ 20 卸 + 1.6 ポイ ント	—	—	延+ 163 卸 + 2.0 ポイ ント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	35 卸	89 卸	63 卸	—	—	延 511 卸
—	—	± 0 卸	▲ 17 卸	+ 19 卸	—	—	延+ 154 卸

問 22-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑥ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

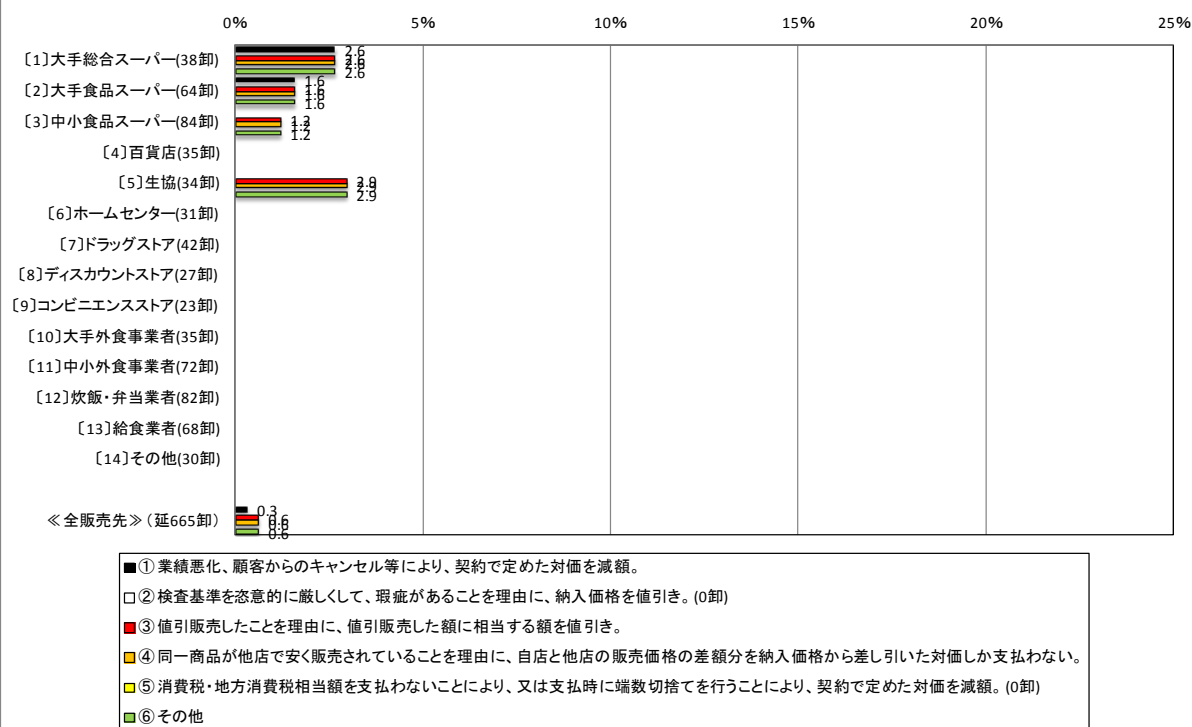
**想定例**

- ① 業績悪化、顧客からのキャンセル等により、契約で定めた対価を減額。
- ② 検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、納入価格を値引き。
- ③ 値引販売したことを理由に、値引販売した額に相当する額を値引き。
- ④ 同一商品が他店で安く販売されていることを理由に、自店と他店の販売価格の差額分を納入価格から差し引いた対価しか支払わない。
- ⑤ 消費税・地方消費税相当額を支払わないことにより、又は支払時に端数切捨てを行うことにより、契約で定めた対価を減額。
- ⑥ その他

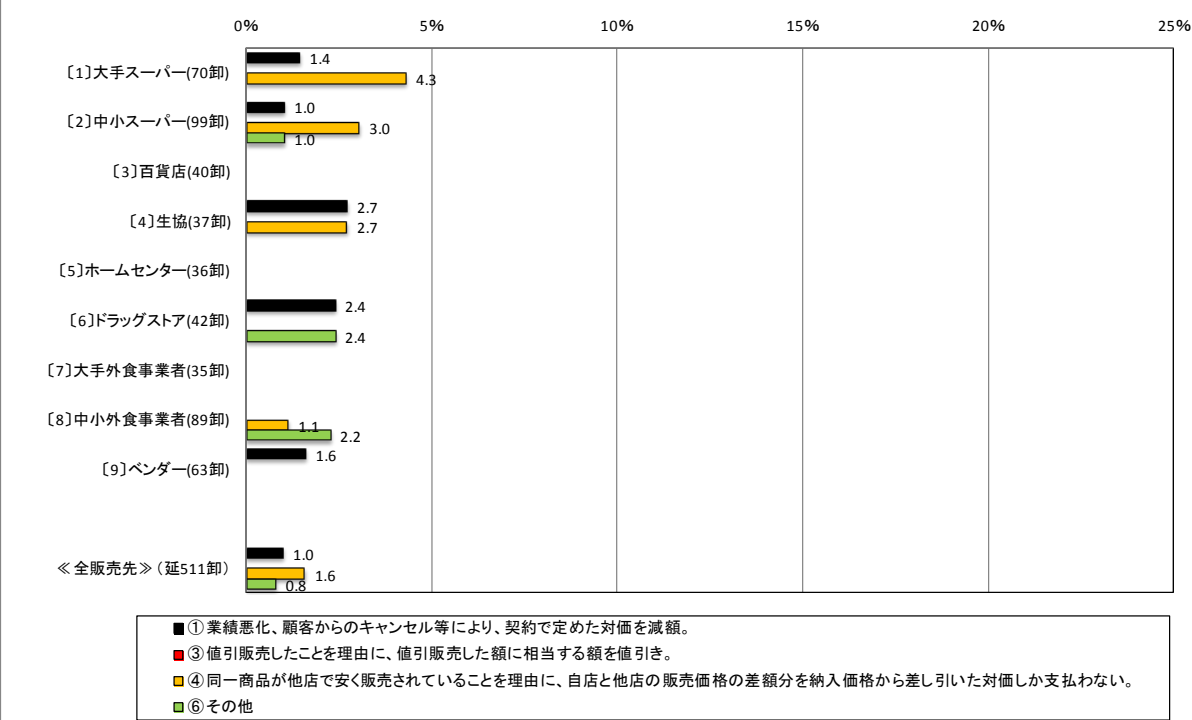
- 「減額」が「存在する」と回答した組合員が最も多く選択したのは、「③値引販売したことを理由に、値引販売した額に相当する額を値引き。」と「④同一商品が他店で安く販売されていることを理由に、自店と他店の販売価格の差額分を納入価格から差し引いた対価しか支払わない。」で、〔1〕大型総合スーパー、〔2〕大手食品スーパー、〔3〕中小食品スーパー、〔5〕生協が各1卸あった。
- 「①業績悪化、顧客からのキャンセル等により、契約で定めた対価を減額。」は〔1〕大型総合スーパー、〔2〕大手食品スーパーが各1卸あった。
- 「②検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、納入価格を値引き。」と「⑤消費税・地方消費税相当額を支払わないことにより、又は支払時に端数切捨てを行うことにより、契約で定めた対価を減額。」は選択がなかった。



## 問22-2「減額」の具体的内容



## 23年度 問8「不当な値引」の具体的内容



問22-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 業績悪化、顧客からのキャンセル等により、契約で定めた対価を減額。	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	—	± 0 卸 + 0.1 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイント
		—	—	—	—	—	—	—
② 検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、納入価格を値引き。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
③ 値引販売したことを理由に、値引販売した額に相当する額を値引き。	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	+ 1 卸 + 1.6 ポイント	+ 1 卸 + 1.2 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.9 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
		—	—	—	—	—	—	—
④ 同一商品が他店で安く販売されていることを理由に、自店と他店の販売価格の差額分を納入価格から差し引いた対価しか支払わない。	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	3 卸 4.3 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	—	▲ 2 卸 ▲ 2.7 ポイント	▲ 2 卸 ▲ 1.8 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 + 0.2 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
		—	—	—	—	—	—	—
⑤ 消費税・地方消費税相当額を支払わないことにより、又は支払時に端数切捨てを行うことにより、契約で定めた対価を減額。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
⑥ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	—	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイント
		—	—	—	—	—	—	—
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 15 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	≪全販売先≫
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.3 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 5 卸 1.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	—	—	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.7 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 3 卸 + 0.6 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.6 %
—	—	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 8 卸 1.6 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 5 卸 ▲ 1.0 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 ± 0 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 4 卸 0.8 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	▲ 2 卸 ▲ 2.2 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.8 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	35 卸	89 卸	63 卸	—	—	延 511 卸
—	—	± 0 卸	▲ 17 卸	+ 19 卸	—	—	延 ▲ 32 卸

問 23 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 24 昨年に比べて、「減額」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

※ 回答がなかった。

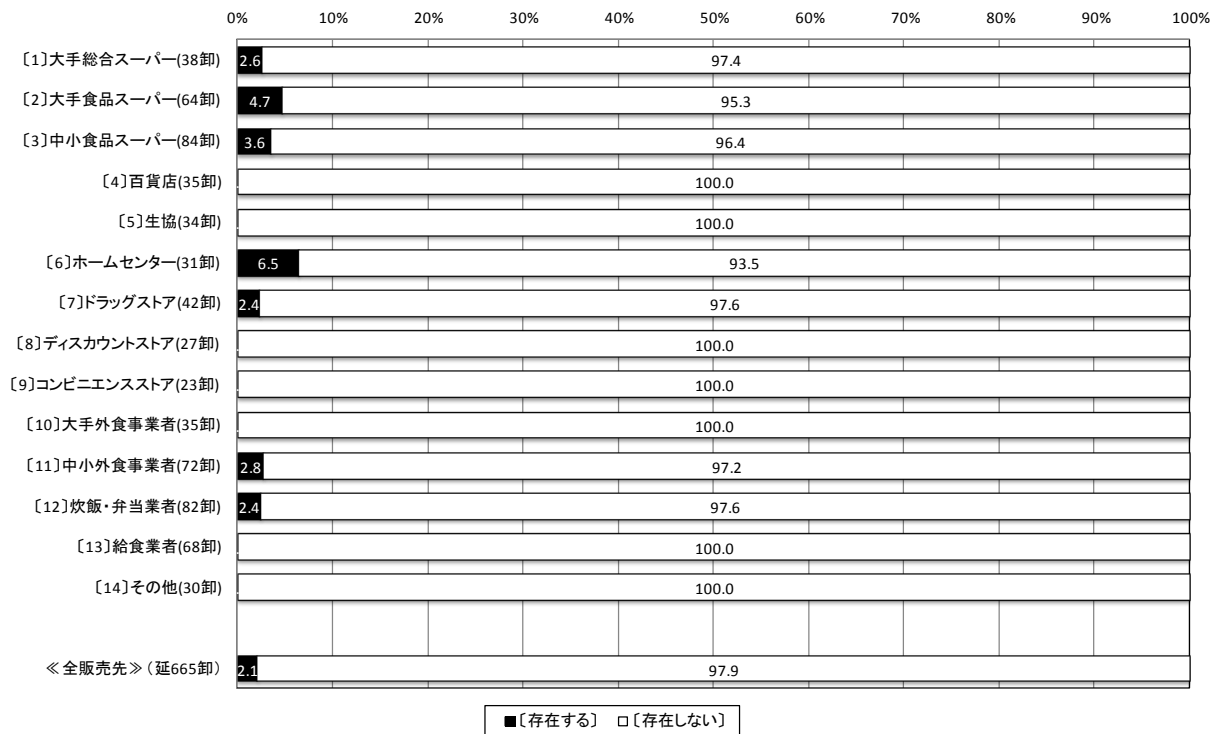
＜ 9．独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ハ（(5)ア 取引の対価の一方的決定）

について＞（問 2 5～問 2 7）（別紙 2 P 2 1～2 3）

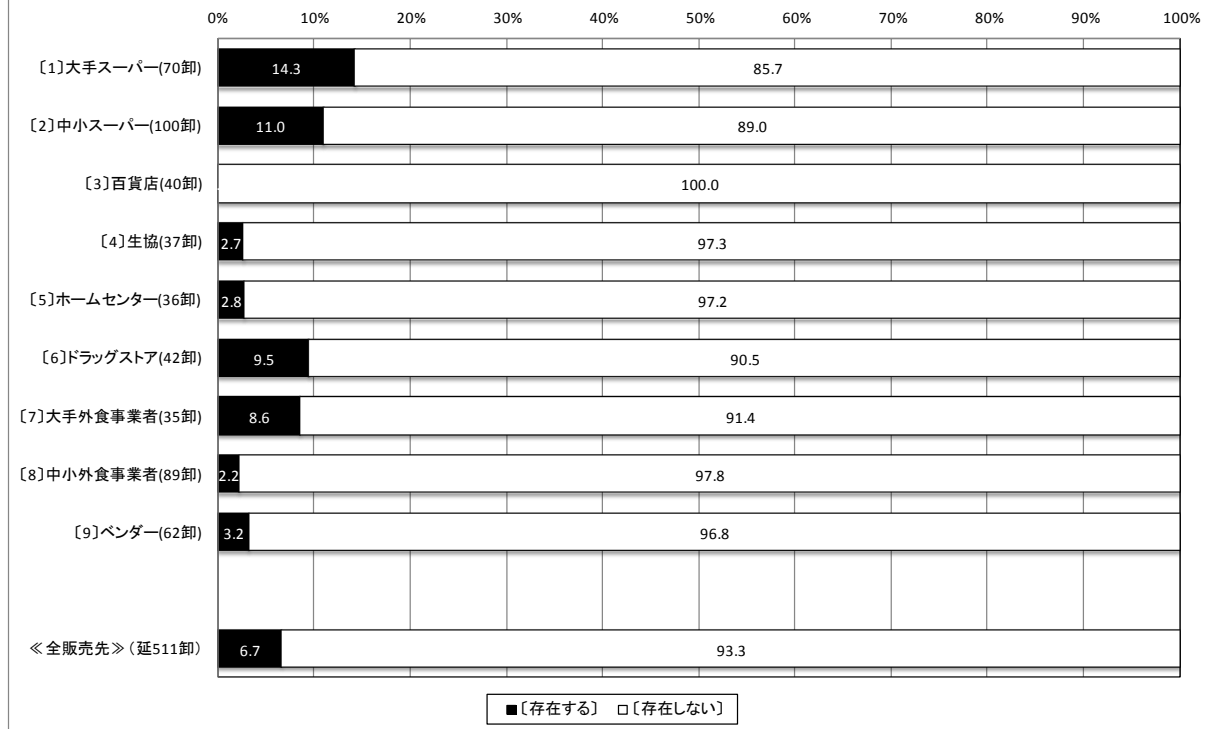
**問 2 5** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「取引の対価の一方的決定」（一方的に、著しく低い対価での取引を要請すること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

- 「取引の対価の一方的決定」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で 2.1%で、前回調査の「特売商品等の買ったたき」が「存在する」と回答した卸の割合（6.7%）から大きく減少している。
- 販売先区分で、前回の調査から大きく減少したのは、〔2〕大手食品スーパーが 10 卸から 3 卸〔3〕中小食品スーパーが 11 卸から 3 卸、〔7〕ドラッグストアが 4 卸から 1 卸、〔10〕大手外食事業者が 3 卸から 0 卸であった。

### 問 25 「取引の対価の一方的決定」の有無



### 23年度 問16 「特売商品等の買ったたき」の有無



問25 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	1 卸 2.6 %	3 卸 4.7 %	3 卸 3.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 6.5 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	—	10 卸 14.3 %	11 卸 11.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	4 卸 9.5 %
	増減	—	▲ 7 卸 ▲ 9.6 ポイ ジ	▲ 8 卸 ▲ 7.4 ポイ ジ	± 0 卸 ± 0 ポイ ジ	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイ ジ	+ 1 卸 + 3.7 ポイ ジ	▲ 3 卸 ▲ 7.1 ポイ ジ
〔存在しない〕	24年度調査	37 卸 97.4 %	61 卸 95.3 %	81 卸 96.4 %	35 卸 100.0 %	34 卸 100.0 %	29 卸 93.5 %	41 卸 97.6 %
	23年度調査	—	60 卸 85.7 %	89 卸 89.0 %	40 卸 100.0 %	36 卸 97.3 %	35 卸 97.2 %	38 卸 90.5 %
	増減	—	+ 1 卸 + 9.6 ポイ ジ	▲ 8 卸 + 7.4 ポイ ジ	▲ 5 卸 ± 0 ポイ ジ	▲ 2 卸 + 2.7 ポイ ジ	▲ 6 卸 ▲ 3.7 ポイ ジ	+ 3 卸 + 7.1 ポイ ジ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 6 卸	▲ 16 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸



〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.8 %	2 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 14 卸 2.1 %
—	—	3 卸 8.6 %	2 卸 2.2 %	2 卸 3.2 %	—	—	延 34 卸 6.7 %
—	—	▲ 3 卸 ▲ 8.6 ポイ ント	± 0 卸 + 0.5 ポイ ント	± 0 卸 ▲ 0.8 ポイ ント	—	—	延 ▲ 20 卸 ▲ 4.5 ポイ ント
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	70 卸 97.2 %	80 卸 97.6 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 651 卸 97.9 %
—	—	32 卸 91.4 %	87 卸 97.8 %	60 卸 96.8 %	—	—	延 477 卸 93.3 %
—	—	+ 3 卸 + 8.6 ポイ ント	▲ 17 卸 ▲ 0.5 ポイ ント	+ 20 卸 + 0.8 ポイ ント	—	—	延 + 174 卸 + 4.5 ポイ ント
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	35 卸	89 卸	62 卸	—	—	延 511 卸
—	—	± 0 卸	▲ 17 卸	+ 20 卸	—	—	延 + 154 卸

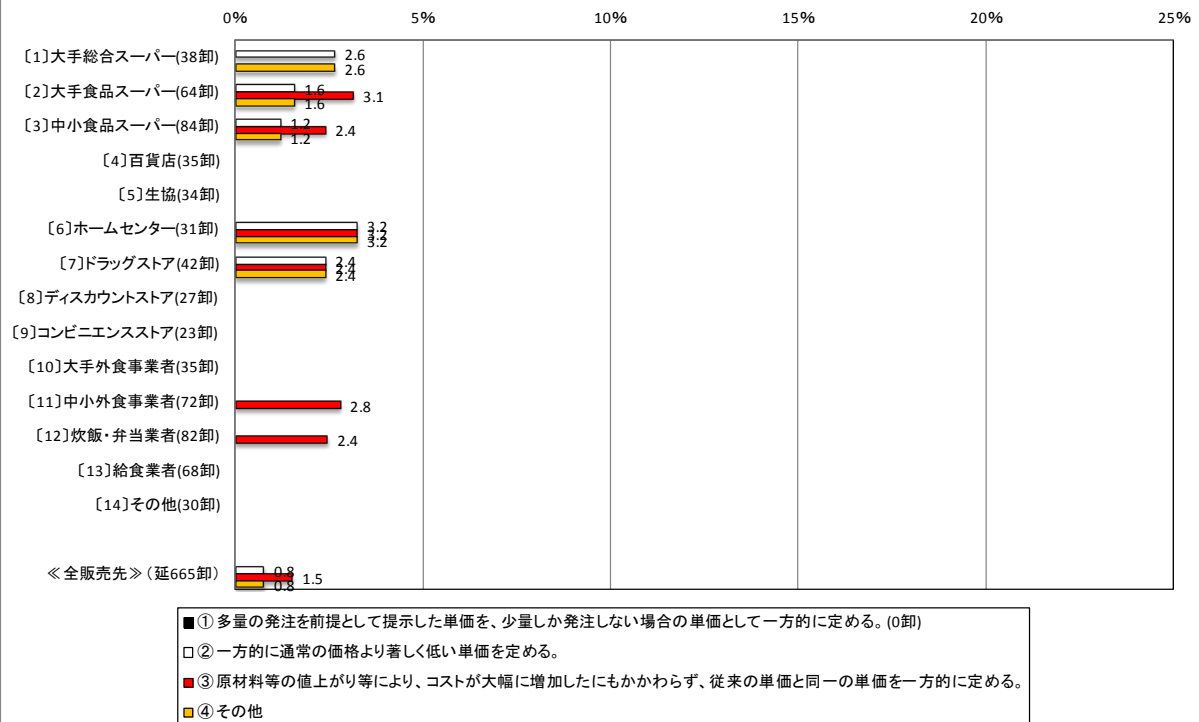
問 25-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「④ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。

**想定例**

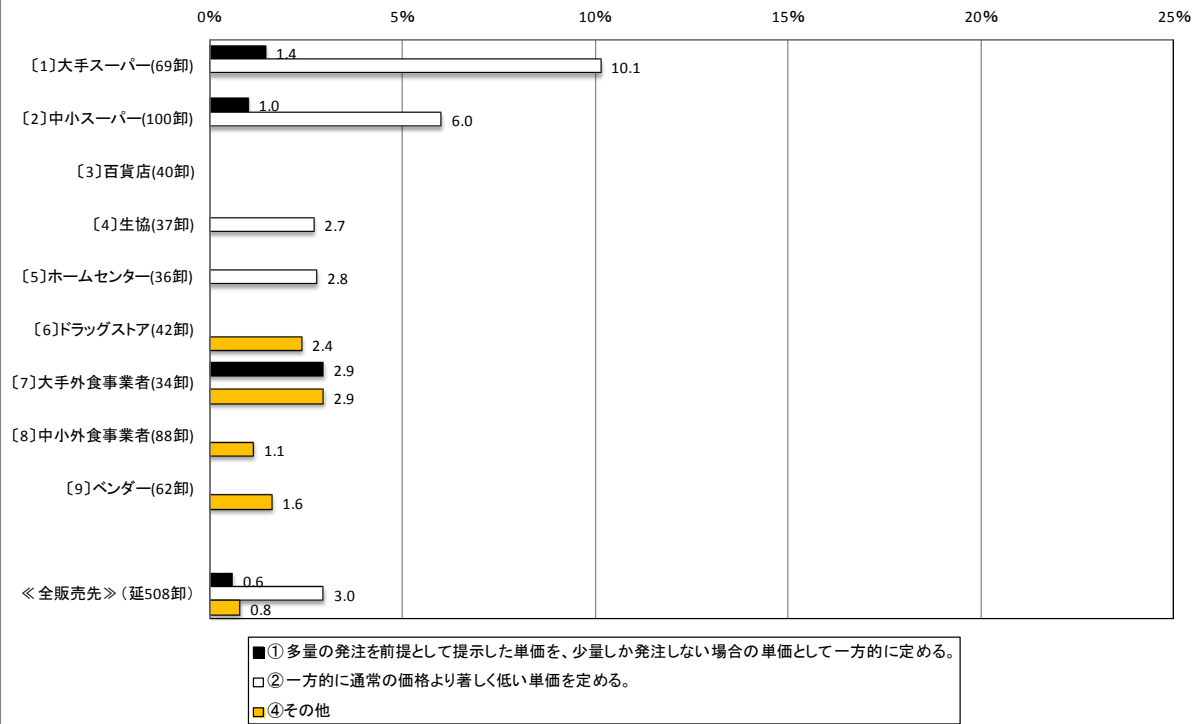
- ① 多量の発注を前提として提示した単価を、少量しか発注しない場合の単価として一方的に定める。
- ② 一方的に通常の価格より著しく低い単価を定める。
- ③ 原材料等の値上がり等により、コストが大幅に増加したにもかかわらず、従来の単価と同一の単価を一方的に定める。
- ④ その他

- 「①多量の発注を前提として提示した単価を、少量しか発注しない場合の単価として一方的に定める。」は選択した卸が無かった。
- 「②一方的に通常の価格より著しく低い単価を定める。」は前回調査の 3.0%（延 15 卸）から 0.8%（延 5 卸）と大きく減少した。  
大きく減少した販売先区分は、昨年調査の〔1〕大手スーパーが 10.1%（7 卸）から〔1〕大手総合スーパー2.6%（1 卸）および〔2〕大手食品スーパー1.6%（1 卸）へ、〔3〕中小食品スーパーが 6.0%（6 卸）から 1.2%（1 卸）であった。
- 「③ 原材料等の値上がり等により、コストが大幅に増加したにもかかわらず、従来の単価と同一の単価を一方的に定める。」は、24 年産の価格高騰の影響と思われるが、1.5%（延 10 卸）と最も多く選択された。

### 問25-2「取引の対価の一方的決定」の具体的内容



### 23年度 問17「特売商品等の買ったたき」の具体的内容



問25-2 データテーブル

		[1]大手総合スーパー	[2]大手食品スーパー	[3]中小食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6]ホームセンター	[7]ドラッグストア
① 多量の発注を前提として提示した単価を、少量しか発注しない場合の単価として一方的に定める。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	— —	▲ 1 卸 ▲ 1.4 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
② 一方的に通常の価格より著しく低い単価を定める。	24年度調査	1 卸 2.6 %	1 卸 1.6 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	— —	7 卸 10.1 %	6 卸 6.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %
	増減	— —	▲ 6 卸 ▲ 8.6 ポイント	▲ 5 卸 ▲ 4.8 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.7 ポイント	± 0 卸 + 0.4 ポイント	+ 1 卸 + 2.4 ポイント
③ 原材料等の値上がり等により、コストが大幅に増加したにもかかわらず、従来の単価と同一の単価を一方的に定める。	24年度調査	0 卸 0.0 %	2 卸 3.1 %	2 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 3.2 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	増減	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
④ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	— —	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	増減	— —	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	▲ 1 卸 ▲ 2.4 ポイント
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	69 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	増減	—	▲ 5 卸	▲ 16 卸	▲ 5 卸	▲ 3 卸	▲ 5 卸	± 0 卸

〔8〕ディスカウントストア	〔9〕コンビニエンスストア	〔10〕大手外食事業者	〔11〕中小外食事業者	〔12〕炊飯・弁当業者	〔13〕給食業者	〔14〕その他	《全販売先》
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 3 卸 0.6 %
—	—	▲ 1 卸 ▲ 2.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 3 卸 ▲ 0.6 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.8 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 15 卸 3.0 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 ▲ 11 卸 ▲ 2.2 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.8 %	2 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 10 卸 1.5 %
—	—	—	—	—	—	—	延 0 卸 0.0 %
—	—	—	—	—	—	—	延 + 0 卸 + 1.5 ポイ
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
—	—	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	—	—	延 4 卸 0.8 %
—	—	▲ 1 卸 ▲ 2.9 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.1 ポイ	▲ 1 卸 ▲ 1.6 ポイ	—	—	延 ▲ 4 卸 ▲ 0.8 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	34 卸	88 卸	62 卸	—	—	延 508 卸
—	—	+ 1 卸	▲ 16 卸	+ 20 卸	—	—	延 ▲ 29 卸

問 26 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 27 昨年に比べて、「取引対価の一方的決定」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

〔 1〕 大型総合スーパー

- バイヤーがルーズなため、増加した。

< 10. 独占禁止法第2条第9項第5号ハ（(5)イ やり直しの要請）について>

（問28～問30）（別紙2P 23～24）

**問 28** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「やり直しの要請」（商品を受領した後に、正当な理由がないのにやり直しを要請すること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。（新規調査項目）

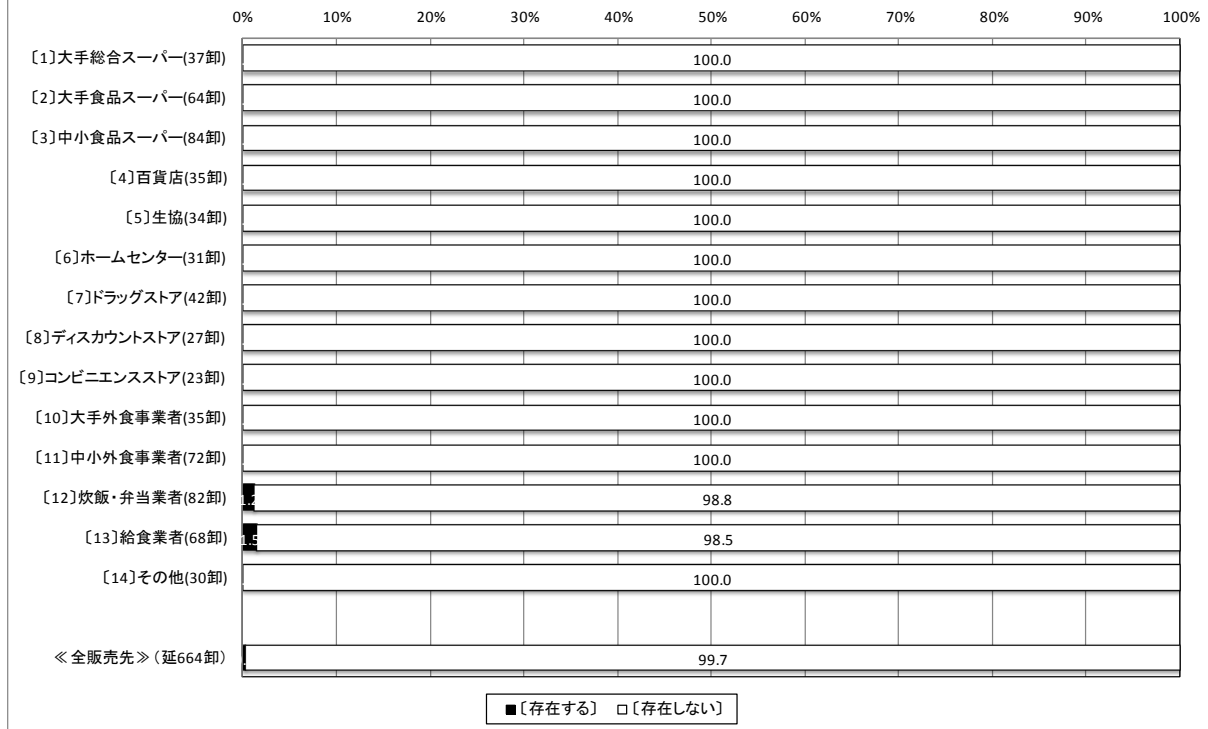
- 《全販売先》で「やり直しの要求」が「存在する」と回答したのは〔12〕炊飯・弁当業者と〔13〕給食業者、各1卸、延2卸であった。

問28 データテーブル

		〔1〕大手 総合スーパー	〔2〕大手 食品スーパー	〔3〕中小 食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕 ホームセンター	〔7〕 ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
〔存在しない〕	24年度調査	37 卸 100.0 %	64 卸 100.0 %	84 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—
取引卸数	24年度調査	37 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—



## 問 28 「やり直しの要求」の有無



[8] ディスカウント ストア	[9] コンビニエンス ストア	[10] 大手 外食事業者	[11] 中小 外食事業者	[12] 炊飯・ 弁当業者	[13] 給食業者	[14] その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	1 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.3 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	81 卸 98.8 %	67 卸 98.5 %	30 卸 100.0 %	延 662 卸 99.7 %
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 664 卸
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

問 28-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「④ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。（新規調査項目）

#### 想定例

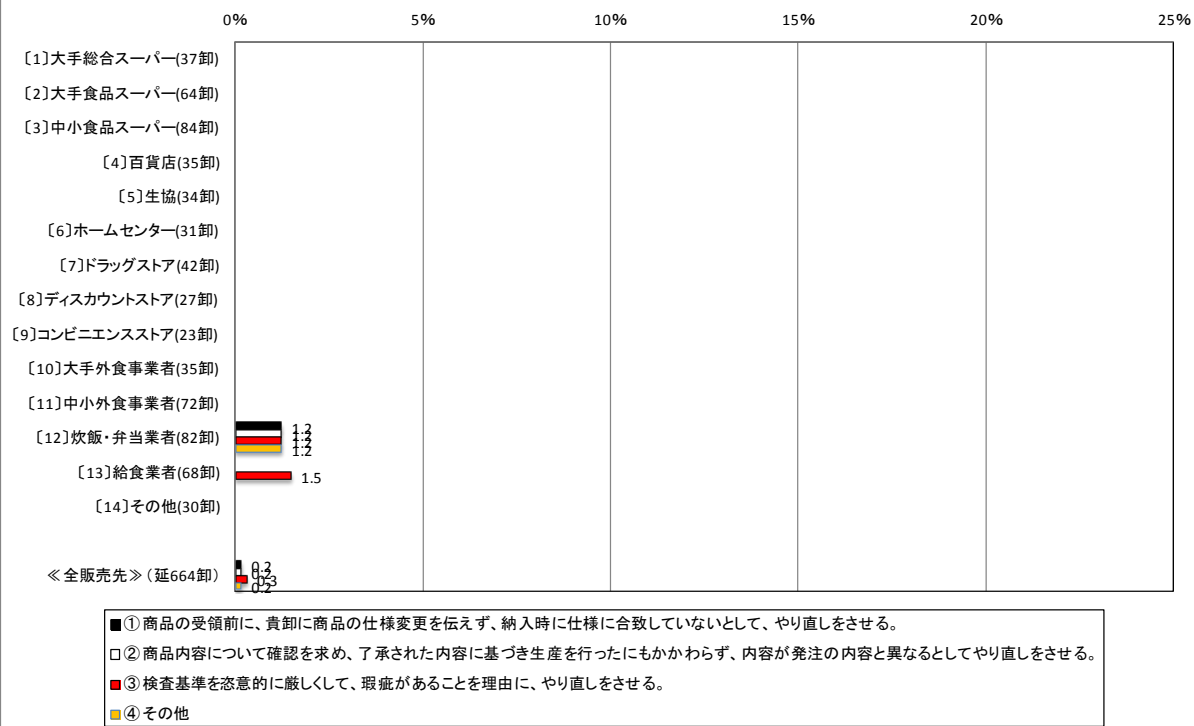
- ① 商品の受領前に、貴卸に商品の仕様変更を伝えず、納入時に仕様に合致していないとして、やり直しをさせる。
- ② 商品内容について確認を求め、了承された内容に基づき生産を行ったにもかかわらず、内容が発注の内容と異なるとしてやり直しをさせる。
- ③ 検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、やり直しをさせる。
- ④ その他

- 「①商品の受領前に、貴卸に商品の仕様変更を伝えず、納入時に仕様に合致していないとして、やり直しをさせる。」を選択したのは〔12〕炊飯・弁当業者で1卸あった。
- 「②商品内容について確認を求め、了承された内容に基づき生産を行ったにもかかわらず、内容が発注の内容と異なるとしてやり直しをさせる。」を選択したのは〔12〕炊飯・弁当業者で1卸あった。
- 「③検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、やり直しをさせる。」を選択したのは〔12〕炊飯・弁当業者と〔13〕給食業者が各1卸の延2卸であった。

問28-2 データテーブル

		〔1〕大手総合スーパー	〔2〕大手食品スーパー	〔3〕中小食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕ホームセンター	〔7〕ドラッグストア
① 商品の受領前に、貴卸に商品の仕様変更を伝えず、納入時に仕様に合致していないとして、やり直しをさせる。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
② 商品内容について確認を求め、了承された内容に基づき生産を行ったにもかかわらず、内容が発注の内容と異なるとしてやり直しをさせる。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
③ 検査基準を恣意的に厳しくして、瑕疵があることを理由に、やり直しをさせる。	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
④ その他	24年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
取引卸数	24年度調査	37 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸

## 問28-2 「やり直しの要求」の具体的内容



[8] ディスカウントストア	[9] コンビニエンスストア	[10] 大手外食事業者	[11] 中小外食事業者	[12] 炊飯・弁当業者	[13] 給食業者	[14] その他	《全販売先》
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	延 1 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	1.2 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	1 卸	0 卸	0 卸	延 1 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	1.2 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	1 卸	1 卸	0 卸	延 2 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	1.2 %	1.5 %	0.0 %	0.3 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 664 卸

問 29 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 30 昨年に比べて、「やり直しの要請」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

※ 回答がなかった。

＜ 1 1．独占禁止法第 2 条第 9 項第 5 号ハ（(5)ウ その他の優越的地位の濫用）

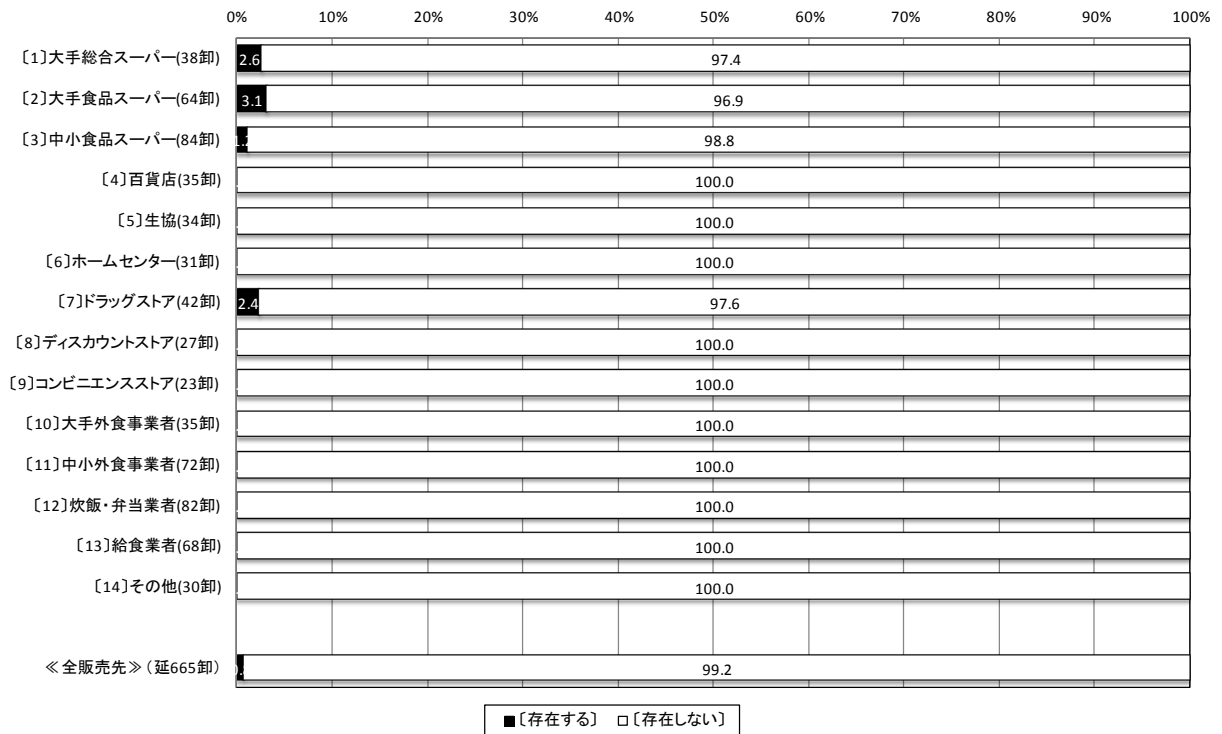
について＞（問 3 1～問 3 3）（別紙 2 P 2 4～2 6）

**問 3 1** 現在、継続して取引する相手方（新たに継続して取引しようとする相手方を含む。）において、自己の取引上の地位が貴卸に優越していることを利用した「その他の優越的地位の濫用」（上記 問 1～3 0 の設問に該当しないが、優越的地位の濫用により正常な商慣習に照らして不当に不利益を与えること。）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、「存在する」もしくは「存在しない」に○を付してください。

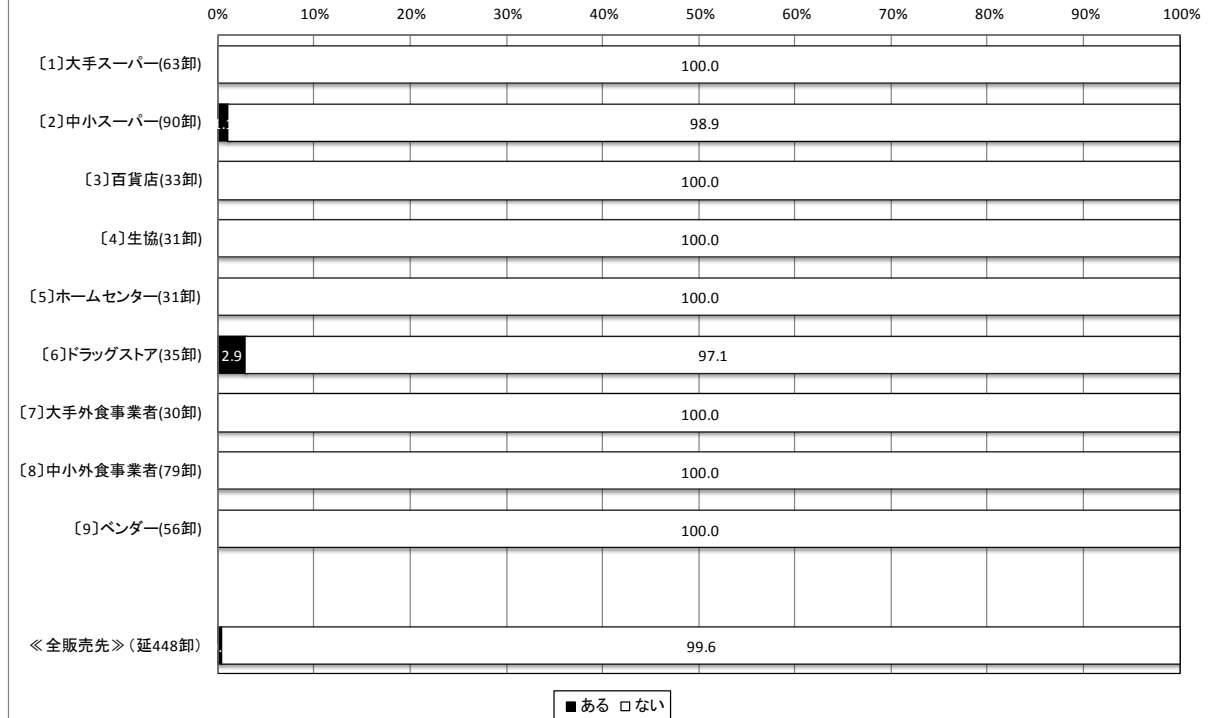
- 「その他の優越的地位の濫用」が「存在する」と回答した卸の割合は、《全販売先》で延 5 卸 0.8%で、昨年の「その他不当と思われる販売先の行為」が存在するとした回答（延 2 卸、0.4%）に比べ若干増加した。

販売先区分では、〔1〕大手食品スーパーは前回なかったが、今回の調査では〔1〕大手総合スーパーで 1 卸、〔2〕大手食品スーパーで 2 卸が選択した。

### 問 31 「その他の優越的地位の濫用」の有無



### 23年度 問50 「その他不当と思われる販売先の行為」の有無



問31 データテーブル

		[1]大手 総合スーパー	[2]大手 食品スーパー	[3]中小 食品スーパー	[4]百貨店	[5]生協	[6] ホームセンター	[7] ドラッグストア
〔存在する〕	24年度調査	1 卸 2.6 %	2 卸 3.1 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	23年度調査	— —	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %
	増減	— —	+ 2 卸 + 3.1 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ▲ 0.5 ポイ
〔存在しない〕	24年度調査	37 卸 97.4 %	62 卸 96.9 %	83 卸 98.8 %	35 卸 100.0 %	34 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	41 卸 97.6 %
	23年度調査	— —	63 卸 100.0 %	89 卸 98.9 %	33 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	31 卸 100.0 %	34 卸 97.1 %
	増減	— —	▲ 1 卸 ▲ 3.1 ポイ	▲ 6 卸 ▲ 0.1 ポイ	+ 2 卸 ± 0 ポイ	+ 3 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 7 卸 + 0.5 ポイ
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸
	23年度調査	—	63 卸	90 卸	33 卸	31 卸	31 卸	35 卸
	増減	—	+ 1 卸	▲ 6 卸	+ 2 卸	+ 3 卸	± 0 卸	+ 7 卸



〔8〕ディスカウント ストア	〔9〕コンビニエンス ストア	〔10〕大手 外食事業者	〔11〕中小 外食事業者	〔12〕炊飯・ 弁当業者	〔13〕 給食業者	〔14〕 その他	《全販売先》 合計
0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.8 %
—	—	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	—	—	延 2 卸 0.4 %
—	—	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 3 卸 + 0.3 ポイ
27 卸 100.0 %	23 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	72 卸 100.0 %	82 卸 100.0 %	68 卸 100.0 %	30 卸 100.0 %	延 660 卸 99.2 %
—	—	30 卸 100.0 %	79 卸 100.0 %	56 卸 100.0 %	—	—	延 446 卸 99.6 %
—	—	+ 5 卸 ± 0 ポイ	▲ 7 卸 ± 0 ポイ	+ 26 卸 ± 0 ポイ	—	—	延 + 214 卸 ▲ 0.3 ポイ
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸
—	—	30 卸	79 卸	56 卸	—	—	延 448 卸
—	—	+ 5 卸	▲ 7 卸	+ 26 卸	—	—	延 + 217 卸

問 31-2 また、販売先区分ごとに、存在する場合は、当てはまる想定例に○を付し、取引先名を記載して下さい（複数可）。なお、想定例「⑤ その他」および販売先区分「〔14〕 その他」を選択した場合は、その内容を（ ）内にご記入下さい。（新規調査項目）

#### 想定例

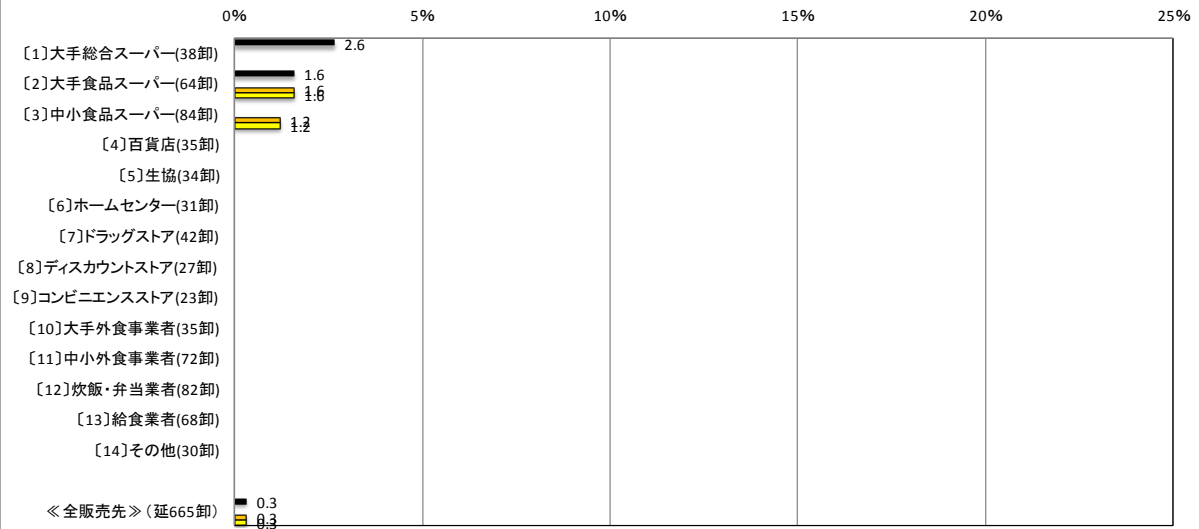
- ① 特定仕様の発注を受け、原材料等を調達したにもかかわらず、当該調達に要した費用を支払うことなく、発注を取り消された。
- ② 新たな機械設備の導入を指示し、一定数量の発注を確約し、貴卸が当該機械設備の導入等の行動を採っているのを黙認していたにもかかわらず、発注を取り消された。
- ③ 著しく高額な保証金を一方的に定め、当該保証金を預託させる。
- ④ 納品できなかった場合等のペナルティを一方的に定め、販売していれば得られた利益相当額を超える額を負担させる。
- ⑤ その他

- 「①特定仕様の発注を受け、原材料等を調達したにもかかわらず、当該調達に要した費用を支払うことなく、発注を取り消された。」が「存在する」と回答したのは〔1〕大型総合スーパーと〔2〕大手食品スーパーが各1卸であった。
- 「②新たな機械設備の導入を指示し、一定数量の発注を確約し、貴卸が当該機械設備の導入等の行動を採っているのを黙認していたにもかかわらず、発注を取り消された。」および「③著しく高額な保証金を一方的に定め、当該保証金を預託させる。」が「存在する」との回答はなかった。
- 「④納品できなかった場合等のペナルティを一方的に定め、販売していれば得られた利益相当額を超える額を負担させる。」が「存在する」と回答したのは〔2〕大手食品スーパーと〔3〕中小食品スーパーが各1卸であった。

問31-2 データテーブル

		〔1〕大手総合スーパー	〔2〕大手食品スーパー	〔3〕中小食品スーパー	〔4〕百貨店	〔5〕生協	〔6〕ホームセンター	〔7〕ドラッグストア
① 特定仕様の発注を受け、原材料等を調達したにもかかわらず、当該調達に要した費用を支払うことなく、発注を取り消された。	24年度調査	1 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		2.6 %	1.6 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
② 新たな機械設備の導入を指示し、一定数量の発注を確約し、貴卸が当該機械設備の導入等の行動を採っているのを黙認していたにもかかわらず、発注を取り消された。(0卸)	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
③ 著しく高額な保証金を一方的に定め、当該保証金を預託させる。(0卸)	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
④ 納品できなかった場合等のペナルティを一方的に定め、販売していれば得られた利益相当額を超える額を負担させる。	24年度調査	0 卸	1 卸	1 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	1.6 %	1.2 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
⑤ その他	24年度調査	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸
		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
取引卸数	24年度調査	38 卸	64 卸	84 卸	35 卸	34 卸	31 卸	42 卸

### 問31-2「その他の優越的地位の濫用」の具体的内容



- ① 特定仕様の発注を受け、原材料等を調達したにもかかわらず、当該調達に要した費用を支払うことなく、発注を取り消された。
- ② 新たな機械設備の導入を指示し、一定数量の発注を確約し、貴卸が当該機械設備の導入等の行動を採っているのを黙認していたにもかかわらず、発注を取り消された。(0卸)
- ③ 著しく高額な保証金を一方的に定め、当該保証金を預託させる。(0卸)
- ④ 納品できなかった場合等のペナルティを一方的に定め、販売していれば得られた利益相当額を超える額を負担させる。

[8]ディスカウントストア	[9]コンビニエンスストア	[10]大手外食事業者	[11]中小外食事業者	[12]炊飯・弁当業者	[13]給食業者	[14]その他	《全販売先》
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 2 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 2 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %
0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	0 卸	延 0 卸
0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
27 卸	23 卸	35 卸	72 卸	82 卸	68 卸	30 卸	延 665 卸

問 32 前問で○を付した想定例における貴卸の実例について、(例)を参考にご記載下さい。

(略)

問 33 昨年に比べて、「その他」と思われる取引が「増加した」「減少した」「存在しなくなった」等の事例がある場合は、その事例と理由をご記入下さい（例：「販売先の責任者が変わったため減少した」、「販売先の決算目標が高くなり、増加した」等）。

※ 回答がなかった。

（２）ご意見等

問 34 ご意見等ございましたらご記入ください。

（略）

平成24年度 「取引実態調査」(第7回) 結果

---

平成25年7月 発行

編集 全国米穀販売事業共済協同組合 経営相談室

〒103-0001 東京都中央区小伝馬町 15-15

TEL (03)4334-2125 FAX (03)4334-2148

---

承諾なしに転載、転写およびデータベース、磁気媒体、  
光ディスクなどへの入力を禁じます。

